

2018

ビューティスペシャリスト科 シラバス



学校法人京都中央学院

YIC京都ビューティ専門学校

シラバスとは

シラバスとは講義概要であり授業全体の計画書のことです。授業の目標・内容・参考図書・成績評価の方法などが記され、皆さんが授業内や授業外で学修を行うための指針を示すものです。

教員は、この指針に従って授業を行うこととなります。したがってシラバスは授業計画を学生と教員との間で共有する、「契約書」に近い位置づけのものです。シラバスに記載された目標を達成するために、教員は授業を通して学生である皆さんに知識と技術を習得させる義務を負います。逆に皆さんは授業に出席する義務を負うこととなります。

また広い意味では、本校が地域社会に対して本校の教育の質を担保するものでもあります。

実際に授業が行われるにあたって、学生や教員があらかじめ準備したり、従うべき事項等を共有する文書となります。授業で行われる内容があらかじめ記載されていますので、学生は授業に臨む際に前もって準備を行うことができますし、記載されている評価方法に向けての学修などを行うこともできます。

シラバスを作成する過程で、教員が自らの行う授業の内容、評価方法などの具体的構造を見直すことができ、自分の授業を見直す良い機会になります。

皆さんは、このシラバスを活用して、悔いのない学生生活を送っていただくようお願いします。

2018年度ビューティスペシャリスト科教育課程(案)			履修科目名	単位	内容	目標	1年	2年	
必須科目	ビューティ基礎	講義	人体の構造及び機能	2	解剖生理学			2	
			皮膚科学	1	皮膚科学 I			1	
			公衆衛生	1	公衆衛生				1
			化粧品化学	1	化粧品化学の基礎知識				1
			色彩学	1	色彩に関する基礎的な知識	パーソナルカラー検定3級		1	
			ブライダル概論	1	ブライダル・ビジネスの基礎知識			1	
	実習	アロマセラピー基礎	2	アロマセラピーの基礎知識	アロマセラピー検定2級1級		2		
		ネイル基礎	4	ネイルケア・ネイルアートの基本技術・知識	JNA検定3級		4		
		メイクアップ基礎	4	スキンケアからベースメイクの基本テクニック	JMA検定3級		4		
		ヘアアレンジ基礎	1	ヘアアレンジ基礎			1		
キャリア基礎力	講義	着付け	2	着付けの理論と技術				2	
		エステ基礎	4	フットマッサージ			4		
必須科目計			26				21	5	
選択必須科目	メイク分野	講義実習	メイクアップ I	4	メイクアップの基礎知識・ベーシックへ応用技術	JMA検定2級		4	
			メイクアップ II	4	メイクアップの応用技術	JMA検定1級		4	
			イメージメイク	2	様々な表現のメイクテクニック 基礎			2	
			イメージメイク応用	2	様々な表現のメイクテクニック 応用			2	
			ブライダルメイク	2	様々なブライダルメイクテクニック			2	
			撮影メイク	2	撮影メイクの技術・知識の習得				2
			コスメティック販売実習	2	カウンセリング理論と技法				2
			メイクセラピー I	1	接客カウンセリング時の心理学の基本知識	メイクセラピー検定3級		1	
	ネイル分野	講義実習	メイクセラピー II	1	接客カウンセリング時の心理学の応用知識と技能	メイクセラピー検定2級		1	
			メイクセラピー III	1	接客カウンセリング時の心理学の応用知識と技能	メイクセラピー検定1級		1	
			ネイル I	10	ジェル概論・フロッター・オフ・ジェルアート	JNAジェル検定初級 JNA2級		10	
	エステ分野	講義実習	ネイル II	10	サロンワークに通ずるネイルの知識・技術1	JNA1級		10	
			ネイル III	2	コンテスト対策	各種コンテスト		2	
			解剖生理学 I	2	解剖生理学の応用			2	
			解剖生理学 II	2	解剖生理学の応用・お客様対応			2	
	トータルビューティ分野	講義実習	エステ(ボディ)	8	エステの基本・応用技術(ボディ)	INFA国際ライセンス(ボディ)		8	
			エステ(フェイシャル)	8	エステの基本・応用技術(フェイシャル)	INFA国際ライセンス(フェイシャル)		8	
			アロマセラピー I	1	アロマセラピー実践的なトリートメント				1
			パーソナルカラー	1	色彩に関する応用知識	パーソナルカラー検定2級		1	
	選択必須科目	講義実習	ヘアアレンジ I	1	お客様に提案出来る簡単なアレンジ方法			1	
メイクアップ応用			2	INFA国際ライセンス メイクアップパスポートの取得	INFA国際ライセンス(メイク)		2		
トータルコーディネーター			1	装いのあるコンセプトに従って調和させるための知識技術				1	
選択必須科目計			69				31	38	
選択科目	※トータルビューティ分野	講義実習	メイクアップ特論 I	4	サロンワークに通ずるメイクの知識・技術			4	
			メイクアップ特論 II	4				4	
			ネイル特論 I	4	サロンワークに通ずるネイルの知識・技術			4	
			ネイル特論 II	4				4	
			エステ特論 I	4	サロンワークに通ずるエステの知識・技術			4	
			エステ特論 II	4				4	
			パーツケア実習 I	1	エステパーツケア基礎・応用・実践			1	
			プロップアート	1	ネイルコンテストに向けての			1	
	※ビジネス基礎力分野	講義実技実習研修	サービス接客特論	1	サービスに関する専門技術・知識	サービス接客検定2級		1	
			基本 IT 技術	1	ワード/エクセル			1	
			キャリアデザイン	1	就職活動に必要な知識・コミュニケーション力	希望企業への就職		1	
			プレゼンテーション	1	パワーポイントの基本操作とプレゼンテーション			1	
			ビジネス文章力	1	ビジネス文書に関わる知識・技術			1	
			論理的思考力基礎	1	日常の様々な話題を通して論理的考え方を学ぶ			1	
			ビジネス英語	1	ビューティ業界に必要な英会話基礎			1	
			インターンシップ	1	インターンシップ			1	
			サロン運営 I	2	スチューデントサロン			2	
			サロン運営 II	2	スチューデントサロン			2	
			サロン運営 III	2	スチューデントサロン			2	
			イベントプロデュース	1	ほりかわ祭/HML 他			1	
企業研究	1	就職先と自己とのマッチングのために業界を知り働く意識をつける			1				
企業研修	1	就業体験を通して職場に対する理解の促進及び実践的な人材育成			1				
ボランティア活動	2	ボランティア活動を通して仕事の意義を考える			1	1			
選択科目計			45				7	38	
総計(必須+選択必須+選択)			140				59	81	

※年度により開講しない場合がある

卒業要件資格

- ・共通
- ・エステティックコース
- ・メイクアップアドバイザーコース
- ・ネイルコース

JNA日本ネイリスト検定3級 JMA日本メイクアップ技術検定3級 パーソナルカラー検定3級 アロマセラピー検定2級
 国際エステティック連盟(INFA)ボディパスポート試験
 JMA日本メイクアップ技術検定2級 メイクセラピー検定3級
 JNA日本ネイリスト検定2級 JNAジェル検定初級

※単位:90分×15週の座学(授業)または実習をもって1単位とする。ただし、校外学習などこれによりがたい場合は別途換算する。
 ※卒業の要件:必須科目25単位(750時間)および選択必須科目及び選択科目合わせて12単位(360時間)以上 計64単位(1,920時間)以上の履修
 ※科目履修(単位)認定の要件:80%以上の出席 および 期末試験 60点以上

平成30年度 シラバス

科目名	人体の構造及び機能		担当者		学科	ビューティスペ シャリスト科	開講期	前期
区分	ビューティ基礎 講義	必須	単位 (時間)	2単位 30	学年	1年	曜日 時限	
授業の概要	座学・グループワーク・発表形式を取り入れた授業 チェックテストを実施し、学習した知識・技術の習得状況を確認する 学習の仕方を学び活用する 適宜視覚教材を利用							
学習目的	美容分野のベースとなる、人体の基本的構造を理解し、知識を身につけ幅広く活用する							
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 解剖生理学の基礎を学び習得する 健康や美しさを維持するための基本知識を習得する 							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1週	導入 美しさと健康		座学の学習の進め方を学ぶ 解剖生理学について学ぶ 解剖生理学を学ぶことでどんな事が解決できるかを知る					
第2週	細胞 組織・器官・系統		細胞とは何かを学ぶ 組織・器官・系統とは何かを学ぶ					
第3週	骨格系統 1 骨格系統 2		骨の名称 働き 骨粗しょう症について学ぶ 骨と関節の構造と役割について学ぶ					
第4週	筋肉 1 筋肉 2		筋肉の構造と働きを学ぶ マッサージへの影響を学ぶ 筋肉の名称と場所を学ぶ (起始・停止)					
第5週	消化器 1 消化器 2		消化器の構造を学ぶ ・消化作用 消化器について学ぶ ・胃・小腸・大腸・肝臓・すい臓					
第6週	消化器のトラブルについて 栄養学		便秘、下痢の原因、その解消法について学ぶ 3大栄養素、ビタミン、ミネラル 基礎代謝 カロリー					
第7週	呼吸器について		呼吸器系について学ぶ ・腹式呼吸と胸式呼吸呼吸					
第8週	循環器 1 循環器 2		循環器について学ぶ ・血液の成分、働き、循環経路 ・静脈・動脈・毛細血管 ・血圧脈拍					
第9週	循環器 3		リンパについて学ぶ ・リンパとは何か ・リンパの流れ					
第10週	排泄器		排泄器について学ぶ 腎臓、尿管、尿の生成について学ぶ 腎臓の病気を知る					
第11週	神経系 1		神経系の基本知識を学ぶ ・大脳と神経の伝導					
第12週			・自律神経について学ぶ					
第13週	内分泌 1		ホルモンについて学ぶ ・作用・分泌のコントロール・内分泌腺の種類					
第14週	内分泌系 2		・女性ホルモンについて PMS、更年期障害について					
第15週	総合確認テスト 振り返り		これまでの復習テストの実施 テストの解説					
教科書	『理容美容保健』 日本理容美容教育センター編(参考)							
参考書	INFAテキスト セオリー 身体の地図帳 講談社編							
成績評価	単位認定 60 点以上 期末テスト得点70%+小テスト3回分得点30% ※内容で一部変更する場合があります。							
履修の ポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス ・アワー	水曜日以外の放課後 17:00まで							

平成30年度 シラバス

科目名	皮膚科学		担当者	学科	ビューティスペ シャリスト科	開講期	前期
区分	ビューティ基礎 講義	必須	単位 (時間)	1単位 30	学年	1年	曜日 時限
授業の概要	皮膚およびその附属器官の構造、皮膚の循環系と血管の解剖と生理、皮膚と附属器官の一般的生理機能、皮膚と附属器官の保健ならびに疾病の概要等について学習する。						
学習目的	皮膚は身体の表面を覆い、絶えず外部環境からの刺激にさらされている。そのため、内部諸臓器の保護のみでなく、外界からの情報の感知、身体適応など重要で多様な役割を果たしている。学生が将来美容界において指導的な役割を担うため、美と健康に関わる皮膚の科学的な正しい知識と技術を習得し、これを活用し実践する能力を身につける。						
学習目標	業務遂行上具備すべき知識と技能を修得する。						
授 業 計 画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1回	I 皮膚の構造 (1)	①皮膚の表面 ②皮膚の断面					
第2回	I 皮膚の構造 (2)	③表皮 ④表皮と真皮の境					
第3回	I 皮膚の構造 (3)	⑤真皮 ⑥皮下組織 ⑦皮膚の部位差ならびに人種差					
第4回	II 皮膚附属器官の構造 (1)	①毛 (毛の構造、型と生長周期、型の変化、毛の生長等)					
第5回	II 皮膚附属器官の構造 (2)	①毛 (続き) (毛の性状、立毛筋 等)					
第6回	II 皮膚附属器官の構造 (3)	②脂腺 (皮脂腺) ③汗腺 ④爪					
第7回	III 皮膚の循環系と神経系	①皮膚の血管 ②皮膚のリンパ管 ③皮膚の神経					
第8回	IV 皮膚と附属器官の生理機能 (1)	①対外保護作用 ②体温調節機能 ③知覚作用と皮膚反射					
第9回	IV 皮膚と附属器官の生理機能 (2)	④分泌排泄作用 ⑤呼吸作用 ⑥吸収作用 ⑦貯蔵作用					
第10回	IV 皮膚と附属器官の生理機能 (3)	⑧免疫・解毒・排除作用 ⑨ビタミンD形成作用 ⑩表情作用 ⑪再生作用⑫毛のはたらき ⑬爪のはたらき					
第11回	V 皮膚と附属器官の保健 (1)	①皮膚と全身状態 ②皮膚と精神					
第12回	V 皮膚と附属器官の保健 (2)	③皮膚と栄養 ④皮膚とし好品					
第13回	V 皮膚と附属器官の保健 (3)	⑤皮膚と環境 ⑥皮膚と体内病変					
第14回	前期学習のまとめ	質疑応答、演習試験その他					
第15回	前期学習のまとめ	質疑応答、演習試験その他					
教科書	『理容美容保健』 日本理容美容教育センター編(参考)						
参考書							
成績評価	単位認定	60	点以上	期末テスト得点70%+小テスト5回分得点30% ※内容で一部変更する場合があります。			
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない						
オフィス・アワー	水曜日以外の放課後 17:00まで						

平成30年度 シラバス

区分	ビューティ基礎	必須	単位	1単位	学年	2年	曜日	
	講義		(時間)	30			時限	
授業の概要	公衆衛生制度の発展の系譜、わが国の公衆衛生のあゆみ、公衆衛生の各領域の仕組み、現状、課題について学び、健康日本21、特定健診・保健指導などが実施されることになったことの意義などについて学ぶ。また、美容業務上で必要不可欠な衛生知識を習得する。							
学習目的	人間の美と健康に関わる職業人としてプロとして公衆衛生に係る知識を習得し、衛生管理についての知識・技術理論を習得する。また顧客との良好な人間関係を築く上で必要な公衆衛生関係の社会常識、特に最新の情勢についての知識を習得する。							
学習目標	ビューティ分野で衛生管理のプロとして求められる知識・理論を習得する。また、公衆衛生関係の社会常識、特に最新の情勢についての知識を習得する。							
授業計画								
回	主題	授業内容					備考	
第1回	公衆衛生の概要	公衆衛生の意義と課題を考察する。						
第2回	公衆衛生発展の歴史	欧米の公衆衛生の歩み、日本の公衆衛生の歩み・公衆衛生発展の歴史について学ぶ。						
第3回	公衆衛生の概要具体的な課題と領域	出生率・死亡率・乳児死亡率の低下・平均寿命の推移を統計資料に基づいて学び、今後の課題について考察する。						
第4回	保健所の役割につて	公衆衛生の第一線機関としての保健所の機能と事業について学ぶ。						
第5回	予防医学と保健	予防医学・疫学的重要性と予防医学の推進について学ぶ。						
第6回	世代と保健	母子保健保険・成人・高齢者保健について学ぶ						
第7回	精神と保健	精神保健について学ぶ						
第8回	栄養と保健	栄養と食物について学ぶ						
第9回	医療介護の制度	医療制度・医療保険制度・介護保険制度について学ぶ						
第10回	環境衛生の概要	環境衛生の内容・目的・意義・環境衛生活動を学ぶ。						
第11回	自然環境要因について	空気・水・日光の3要素と人との関わりについて学ぶ。衣食住の要因と健康のかかわりについて学ぶ。						
第12回	公害と環境保全について	大気汚染・水質汚濁・その他について学ぶ						
第13回	サロンの環境衛生について	サロンにおける衛生管理・衛生的取り扱いについて学ぶ						
第14回	感染症の知識	感染症の法律上の分類方法などから、感染症の体系を学ぶ。						
第15回	感染症の概要	微生物の病原性と人体の感受性の総合関係と、汚染、感染、発病の経過を学ぶ。また、免疫の仕組み、予防接種効果や地域社会における感染症の発生の要素と対策について学ぶ。						
教科書	『衛生管理』 日本理容美容教育センター編(参考)							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 確認テスト(20点×15回実施)60%以上 ※内容で一部変更する場合があります。							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー	水曜日以外の放課後 17:00まで							

科目名	化粧品化学		担当者		学科	ビューティスペシャリスト科	開講期	前期
区分	ビューティ基礎 講義	必須	単位 (時間)	1単位 30	学年	2年	曜日 時限	
授業の概要	化粧品に関する基礎知識を学ぶ。							
学習目的	化粧品（化粧品）は、人の皮膚の保健・衛生および美容・美化を目的として用いられるものである。人間の美と健康に関わる職業人として、化粧品の科学的基礎知識を学ぶ。また顧客との良好な人間関係を築く上で必要な化粧品の最新の情勢についての知識を習得する。							
学習目標	人の人体の成分に化学変化を与える化粧品の基本知識の習得とその危険性について認識する。化粧品化学の知識・理解を深めビューティの専門家としての道を拓く。							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	化学	化学・物理の基礎概念の 復習						
第2回	化粧品概論	化粧品概論について学ぶ						
第3回	化粧品用原料	水性原料（水・エタノール） 油性原料（油脂・ロウ類）について学ぶ						
第4回		界面活性剤と高分子化合物について学ぶ。						
第5回		色材の種類・ 香料の種類について学ぶ。						
第6回		その他の配合成分（防腐剤・殺菌剤・酸化防止剤・保湿剤・紫外線吸収剤・収斂剤など）について学ぶ。						
第7回	基礎化粧品	皮膚清浄用化粧品について学ぶ。						
第8回		化粧水、クリーム・乳液、その他の基礎化粧品について学ぶ。						
第9回	メイクアップ用化粧品	メイクアップ用化粧品について学ぶ。						
第10回	頭皮・毛髪用化粧品	皮膚や毛髪の性状、シャンプー剤について学ぶ。						
第11回		スタイリング剤について学ぶ。						
第12回		パーマメントウェーブ用剤について学ぶ。						
第13回		染毛剤・育毛剤について学ぶ。						
第14回	その他の化粧品	芳香製品、特殊化粧品について学ぶ。						
第15回	化粧品の取扱い	化粧品の安定性と取扱い、安全性と取扱いについて学ぶ。						
教科書	物理・化学・化粧品化学							
参考書	化粧品化学 朝倉書店							
成績評価	単位認定60点以上 期末テスト得点70%+小テスト30%					※内容で一部変更する場合があります。		
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行わない							
オフィス・アワー	水曜日以外の放課後 17:00まで							

平成30年度 シラバス

科目名	色彩学		担当者		学科	ビューティスペ シャリスト科	開講期	
区分	ビューティ基礎 講義	必須	単位 (時間)	1単位 30	学年	1年	曜日 時限	
授業の概要	授業は座学を中心とする。 理解を確認するために、適宜チェックテストを行い、知識を確実なものとするようにする。 また、理解しやすいよう、適宜視覚教材を利用する。							
学習目的	色の持つ、文化的・感覚的な力を理解し、 メイク・ネイル・トータルコーディネート等の実践に生かせる知識を習得する。							
学習目標	パーソナルカラリスト検定3級合格（2月受験）							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	色彩学とは		導入					
第2回	四季の自然を表わす色		春／夏／秋／冬に関わる色について					
第3回	日本の色の歴史		特徴的な伝統色					
第4回	色と生活		周りを取り巻く様々な色、衣食住					
第5回	色の種類		赤・橙・黄・緑・青・紫・白黒・グレー系統					
第6回	色の仕組み		物体色と光源色、無彩色と有彩色					
第7回	CUS表色系		カラーアンダートーンシステム					
第8回	色の三属性と対比現象		明度・彩度・色相					
第9回	色の感情効果		明度・彩度・色相に関する心理効果					
第10回	cus配色効果		アンダートーンとは					
第11回	ファッション概論		基本的な配色テクニック					
第12回	ブライダルと色彩		ウエディングと配色調和					
第13回	パーソナルカラー		肌色のしくみ					
第14回	パーソナルカラーの特徴		人の特徴によるアンダートーン パーソナルカラー					
第15回	検定対策		パーソナルカラー3級検定試験対策					
教科書	パーソナルカラリスト検定3級公式テキスト							
参考書								
成績評価	単位認定	60	点以上	期末テスト得点70%＋小テスト5回分得点30% ※内容で一部変更する場合があります。 パーソナルカラリスト検定3級合格を卒業要件とする				
履修の ポイント	出席率80%以上（原則として補講は行わない）							
オフィス ・アワー	水曜日以外の放課後 17:00まで							

平成30年度 シラバス

科目名	ブライダル概論		担当者		学科	ビューティスペシャリスト科	開講期	前期
区分	ビューティ基礎 講義	必須	単位 (時間)	1単位 30	学年	1年	曜日 時限	
授業の概要	人はなぜ結婚するのか？歴史や現代の結婚の形態や流れを数値的に学ぶ。さらには現在のブライダルセレモニーの様子をビデオ等も通じて興味を深めていく。ブライダル業界におけるビューティ関連の役割・重要性を知ることによって今後の職業観の成長を促す。プランニング・ドレス・料理・花・進行等のそれぞれの基本的なことをグループワーク等も交えて学習する。							
学習目的	ブライダル・ビジネスの基本的な仕組みを理解することを目的とする。							
学習目標	一般知識としてのブライダルに関する基本的な事柄について理解する。ブライダル関連に興味を持ち意欲的に行動できるようになる。サービスマナーについても学習し日常生活の中で身につけるように心がける。							
授業計画								
回	主題		授業内容				備考	
第1回	ガイダンス		人はなぜ結婚するのでしょうか？一般知識として感情面や数値的な見地から調べてみよう。意見を出し合いまとめる				DVDゼグシニュース	
第2回	祝賀サービスの基本マナー		サービスの基本姿勢・動作・言葉使い等を習得する(お祝いの言葉・忌言葉)					
第3回	六輝について(冠婚葬祭って何？)		本日はお日柄もよく・・・って何のこと？結納などについても学習する					
第4回	現在のブライダルセレモニーの形態		一般的なブライダルセレモニーの流れを知ろう				ビデオ試写(キリスト教式)	
第5回	お二人の門出を祝福		二人の要望やイメージしている結婚式の形を知るにはどうすればよいのか・・・イメージの統一の大切さを知る。エクソサイズの実施：二人一組でインタビュー					
第6回	ビューティ関連との関わり(ドレス)		花嫁の夢をかなえる！最良の日を作る・・・3回にわたって学習する ドレス選び					
第7回	ビューティ関連との関わり(ヘアメイク等)		2回目は花嫁のヘアやパーツにも触れる。					
第8回	キリスト教結婚式		様々な形の結婚式について学ぶ。神前式・仏式・キリスト教式・人前式等					
第9回	ビューティ関連との関わり(ブライズエステ)		晴れの日に最高に輝くために					
第10回	のしについて・神前式		のしとは何か？どんな意味があるのか？神前式の基本的な流れを学習。京都における神前式のあり方					
第11回	和装について		衣裳について学習する。男性の紋服・女性の内かけ					
第12回	披露宴コーディネイト(席次)		席次の重要性について理解する。適切な案内ができる。応接間・和室での席次においての実習を実施。円卓・流しテーブルの席次が問題用紙に正しく記入できる				確認問題	
第13回	結婚に関わる法律と人生の通過儀礼について		結婚すると手続きは・・・は法的にはどのような事が起こるのか。また一般教養として通過儀礼についても学習する。					
第14回	まとめ演習		これまで学習したことを一枚にまとめて発表(展示)					
第15回	試験		前期試験					
教科書	決定版 冠婚葬祭マナー事典							
参考書	ゼグシ・レイウエディング等 講師にて必要に応じて準備							
成績評価	単位認定 60 点以上 試験70%・レポート・確認問題・課題制作物・20%・出席率10%							
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は実施しない)							
オフィス・アワー	授業終了後							

科目名	アロマテラピー基礎		担当者		学科	ビューティスペシャリスト科	開講期	後期
区分	ビューティ基礎 講義	必須	単位 (時間)	2単位 60	学年	1年	曜日 時限	
授業の概要	授業は座学を中心とする。理解を確認するために、適宜チェックテストを行い、知識を確実なものとするようにする。また、理解しやすいよう、適宜視覚教材を利用する。							
学習目的	身体への生理作用を理解し、実践に役立つ知識を習得する							
学習目標	アロマテラピー検定2級1級合格レベル							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1回	香りに親しむ		導入・イメージング			色鉛筆		
第2回	アロマテラピーのある暮らし		安全の為の注意					
第3回	アロマテラピーのある暮らし		芳香浴法・沐浴法・吸入法			手ぬぐい・洗面器 ・お湯要		
第4回	精油のプロフィール		ジュニパーベリー・ティートリー・オレンジスイート					
第5回	精油の基礎知識		精油とは・芳香物質					
第6回	精油のプロフィール		イランイラン・パチュリ・ペチパーメリッサ・レモングラス					
第7回	精油の基礎知識		精油製造法			DVD		
第8回	精油のプロフィール		ローズアブソリュート・ローズオットー ジャスミン・ベンゾイン・グレープフルーツ					
第9回	精油の基礎知識		心身に作用する経路・精油の作用					
第10回	精油のプロフィール		ゼラニウム・ユーカリ・ペパーミント・クラリセージ					
第11回	アロマテラピーの歴史		先史時代～古代					
第12回	精油のプロフィール		サンダルウッド・ミルラ・ベンゾイン フランキンセンス・サイプレス					
第13回	アロマテラピーの歴史		中世～近代					
第14回	精油のプロフィール		ローズマリー・ベルガモット・スイートマージョラム ネロリ・ブラックペッパー					
第15回	アロマテラピーの歴史		現代					
第16回	精油のプロフィール		ラベンダー・レモン					
第17回	アロマテラピーと環境		植物とともに生きてきた私たちの歴史 いま、地球が抱える難題					
第18回	アロマテラピーと環境		一人ひとりができることから ハーブについて					
第19回	アロマテラピーの楽しみ方		アロマテラピーの基材					
第20回	アロマテラピーの楽しみ方		アロマテラピーの基材					
第21回	精油のプロフィール		アロマテラピーの学名					
第22回	アロマテラピーに関係する法律		アロマテラピーの法律問題					
第23回	アロマテラピーのメカニズムと健康学		脳のしくみと働き					
第24回	アロマテラピーのメカニズムと健康学		嗅覚の生理メカニズム・大脳辺縁系とアロマテラピー					
第25回	アロマテラピーのメカニズムと健康学		精油成分の薬理作用					
第26回	アロマテラピーでホームケア		ホームケアの活用例					
第27回	アロマテラピーのメカニズムと健康学		アロマテラピーの健康学					
第28回	アロマテラピーのメカニズムと健康学		アロマテラピーの健康学					
第29回	検定対策							
第30回	検定対策		模擬テスト					
教科書	アロマテラピー検定公式テキスト2級1級							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上		期末テスト得点70%+小テスト5回分得点30% ※内容で一部変更する場合があります。 尚、アロマテラピー検定2級以上取得を卒業要件とする					
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー	水曜日以外の放課後 17:00まで							

平成30年度 シラバス

科目名	ネイル基礎		担当者	新宮・平塚 中井・山内	学科	ビューティスペ シヤリスト科	開講期	2018 前期
区分	ビューティ基礎	必修	単位	4単位	学年	1年	曜日	金
	実習		(時間)	120			時限	1~4
授業の概要	ネイル基礎知識・ネイルケア・カラーリング・検定アート 検定3級対策							
学習目的	ベーシックなネイルの技能と知識の基礎を習得 JNECネイリスト技能検定3級受験							
学習目標	7月16日 JNECネイリスト技能検定試験3級 受験							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	初回授業説明 理論		教材配布・検品・テーブルセッティング ネイル概論				4月13日	
第2回	ネイルケア基礎		消毒・ファイル・キューティクルクリーン ネイル概論				4月20日	
第3回	ネイルケア基礎		消毒・ファイル・キューティクルクリーン ネイル概論				4月27日	
第4回	ネイルケア基礎		消毒・ファイル・キューティクルクリーン ネイル概論				5月11日	
第5回	ネイルケア基礎		ネイルケア・カラーリング・カラーオフ ネイル概論				5月18日	
第6回	ネイルケア基礎		ネイルケア・カラーリング・カラーオフ 小テスト				5月25日	
第7回	ネイルケア基礎		ネイルアート				6月1日	
第8回	ネイルケア基礎		ネイルケア・カラーリング・カラーオフ ネイル概論				6月8日	
第9回	ネイルケア基礎		ネイルアート				6月15日	
第10回	検定対策		3級対策				6月22日	
第11回	検定対策		3級対策・模擬検定				6月29日	
第12回	検定対策		3級対策・模擬検定				7月6日	
第13回	ネイルケア		3級対策				7月13日	
3級受験 7月15日(日曜日)								
第14回	ネイルケア		ネイルケア復習・アート				7月20日	
第15回	ネイルケア		ネイルケア復習・アート				9月7日	
教科書	JNAテクニカルシステム(ベーシック)							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上		期末試験得点50%+小テスト模擬テスト課題40%+検定合否10% ネイル検定3級取得を卒業要件とする					
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない 本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
オフィス・アワー	随時							

科目名	メイクアップ基礎		担当者		学科	ビューティスペシャリスト科	開講期	
区分	ビューティ基礎	必須	単位	4単位	学年	1年	曜日	
	実習		(時間)	120			時限	
授業の概要	JMA検定教科書に沿い、お客様にとって心地よいメイクの施し方を学習する。メイクの技術の他に、道具の扱い方・身だしなみ・声かけ等も習得し、メイクアップの楽しさを学ぶ。							
学習目的	皮膚科学理論及びスキンケア理論、色彩理論、メイクアップベーシック知識の習得。スキンケアからベースメイクのテクニックの習得。							
学習目標	JMA検定の3級合格							
授業計画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回～第4回	骨・筋肉 / 準備物		事前準備について。セッティング。スプリングメイク					
第5回～第8回	皮膚・表皮 / 順序		ポイントクレンジング					
第9回～第10回	真皮～皮下組織/道具の名称		(Pクレンジング復習)・クレンジング					
第11回～第14回	皮膚の生理作用		(クレンジング復習)・乳化・拭き取り					
第15回～第18回	スキントイプと肌の手入れ・美しい肌の条件		(拭きとり・乳化復習)・化粧水					
第19回～第22回	肌トラブルの原因とアドバイス		(化粧水復習)・ベーススプレッド					
第23回～第26回	顔分析		(スキンケア復習)・コントロールカラー・ファンデーション					
第27回～第30回	色彩学		(スキンケア・コントロールカラーファンデーション復習)コンシーラー・パウダー					
第31回～第34回	肌色の構成・光源とメイクアップ		スキンケア復習・ベースメイク復習					
第35回～第38回	JMA3級直前対策		JMA3級模擬試験・直前対策					
第39回～第42回	JMA3級受験		JMA3級受験					
第43回～第46回	セルフメイク検定について		セルフメイク検定の概要 セルフメイクのポイント					
第47回～第50回	セルフメイク		セルフメイクの復習					
第51回～第52回	セルフメイク		セルフメイク検定直前対策					
第53回～第56回	セルフメイク検定受験		セルフメイク検定受験					
第57回～第60回	期末試験対策		直前対策 試験項目弱点克服					
教科書	メイクアップ技術検定試験JMA公式テキスト 3級							
参考書								
成績評価	単位認定	60	点以上	期末試験得点70%+3回の確認テスト30%にて成績評価を行う ※内容で一部変更する場合があります。				
			尚、JMA3級取得を卒業要件とする。					
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない 本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	ヘアアレンジ基礎		担当者		学科	ビューティ スペシャリスト科	開講期	前期
区分	ビューティ基礎 実習	必須	単位 (時間)	1単位 30	学年	1年	曜日 時限	
授業の概要	ウィッグ使用の実技中心となる。							
学習目的	就職活動～卒業後の現場でのセルフヘアセット技術の習得。 イベントや実技試験で必要となるアレンジ技術の習得を目指す。							
学習目標	人頭で全てのアレンジを実現できる。							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1回	基礎知識		道具類の配布 道具類の種類と使用法・頭部の名称・黒ゴムの前準備					
第2回	身だしなみの為のアップスタイル		・自分で出来るアップスタイル					
第3回	身だしなみの為のアップスタイル		・自分で出来るアップスタイル					
第4回	基礎技術 (基礎1)		基礎技術を修得する					
第5回	基礎技術 (基礎2)		・ブラッシング・ピンニング・ホットカーラの巻き方 ・毛髪調整 (スタイリング剤の使い方)					
第6回	基礎技術 (基礎3)		・各種タポの作り方・根止め (土台) の作り方 ・ゴムの結び方・逆毛 (バックコーミング) の技法					
第7回	基礎技術 (基礎4 一束)		一束にまとめる (・すき毛あり・すき毛なし等)					
第8回	基礎技術 (基礎5 サイド)		サイドのまとめ方 (・ひねり上げ・ねじり上げ等)					
第9回	基礎技術 (基礎5 フロント)		フロントのまとめ方 (・ボンパドル・各パート分け等)			第1回～第9回までの チェックテスト実施		
第10回	編み込み 基礎技術 根元からしっかり編む基本法		・基本の毛束の持ち方と指使いを修得 ・表編み・裏編み・ロープ編み・フィッシュボーン ・四つ編み					
第11回	編み込み 基礎技術 基本技法で編み込む		・各セクションより髪をすくい取り編み込んでいく ・片側表三つ編み込み・両側表編み込み					
第12回	編み込み 基礎技術 基本技法で編み込む		各セクションより髪をすくい取り編み込んでいく 片側裏三つ編み込み・両側裏編み込み					
第13回	アップスタイルの作製		編み込みのアップスタイルの作製					
第14回	アップスタイルの作製		編み込みのアップスタイルの作製					
第15回	期末テスト対策		編み込みを取りいえたオリジナルアップスタイル作製					
教科書								
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 期末試験得点70%+第9回目チェックテスト30%として成績評価を行う							
履修の ポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない 本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
オフィス ・アワー	水曜日以外の放課後 17:00まで							

科目名	着付け		担当者		学科	ビューティ スペシャリスト科	開講期	
区分	ビューティ基礎	必須	単位	2単位	学年	2年	曜日	
	実習		(時間)	60				
授業の概要	着付を通して、和の心に親しみ、'正しい姿勢とご挨拶' '美しい所作を生む和服の着こなし' 'たおやかな立ち居振る舞いと心得' 大人の女性として恥ずかしくない礼儀や作法を身につける。又 着物の取り扱いについても学ぶ							
学習目的	日本伝統衣装とふれあい、正しい姿勢や所作、着物の取り扱いを学びながら、着付け技術の基本ができるようになる							
学習目標	基本着付け（留袖・訪問着・小紋・浴衣・振袖・袴）ができるようになる							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	・浴衣の着付 ・着物のたたみ方		・肌着、裾除けの着付 ・浴衣の着付・帯結び（蝶々結び） ・着物のたたみ方					
第2回	小紋着付		・補整の仕方 ・長襦袢の着付・小紋の着付 ・長襦袢と着物のたたみ方					
第3回	留袖着付		留袖技術の習得、基礎					
第4回	・留袖着付 ・二重太鼓		・留袖技術の習得、基礎 ・二重太鼓					
第5回	振袖着付		振袖技術の習得、基礎					
第6回	・振袖着付 ・変わり結び（かがやき）		・振袖技術の習得、基礎 ・変わり結び（かがやき）					
第7回	・振袖着付 ・変わり結び（かがやき）		・振袖技術の習得、基礎 ・変わり結び（かがやき）					
第8回	・振袖着付 ・変わり結び（かがやき）		・振袖技術の習得、基礎 ・変わり結び（かがやき）					
第9回	振り袖着付（ふくら雀）		・振袖技術の習得、基礎 ・変わり結び（ふくら雀）					
第10回	振り袖着付（ふくら雀）		・振袖着付 ・変わり結び（ふくら雀）					
第11回	振り袖着付（ふくら雀）		・振袖着付 ・変わり結び（ふくら雀）					
第12回	振り袖着付（ふくら雀）実技試験練習		・振袖着付 ・変わり結び（ふくら雀）					
第13回	振り袖着付（ふくら雀）実技試験練習		・振袖着付 ・変わり結び（ふくら雀）					
第14回	着付試験		・振袖着付 ・変わり結び（ふくら雀）					
第15回	袴着付		女袴着付					
教科書	さかの館オリジナル教材							
参考書								
成績評価	単位認定60点以上 第14回着付試験にて成績評価を行う。60点以上の者は修了書を渡す。							
履修のポイント	出席率80%出席 補講は行わない							
オフィス・アワー	水曜日以外の放課後 17:00まで							

平成30年度 シラバス

科目名	エステ基礎		担当者		学科	ビューティスペシャリスト科	開講期	
区分	ビューティ基礎	必修	単位	4単位	学年	1年	曜日	
	実習		(時間)	120			時限	
授業の概要	授業は実技を中心とする。 上達度を確保するために、適宜チェックテストを行い、テクニックを確実なものとするようにする。							
学習目的	エステティック理論で学んだ知識を活かし、施術をし、モデルのボディバランスの変化を知ることによって施術する喜びを感じる。 人に触れる施術を行うことで、接客する上での心遣い、気配り、相手を思いやる気持ちを育む。							
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・フットマッサージのテクニックを習得する。 ・身だしなみ、接客マナー、守秘義務を学ぶ 							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1週	導入 肌に触れるという事		準備・時間厳守・身だしなみを整えることを学ぶ ホットタオルの作り方・ワゴンセット・ベッドセット ・ターバンの巻き方の・タオルセットの方法を学ぶ					
第2週	オイル塗布、軽擦を学ぶ		オイル塗布・軽擦 (圧を抜く・密着する・姿勢に気をつける)					
第3週	ヒップアップの手技、指圧を学ぶ		パイブレーション・プレシオン(指圧)					
第4週	足裏のマッサージを学ぶ 強擦法 切打法を学ぶ		かかとの強擦・足の裏の切打・足の裏の圧迫					
第5週	足裏のマッサージを学ぶ 足裏の血行促進方法を学ぶ		足の裏8の字・足の裏のプレシオン・足の裏の指圧					
第6週	ふくらはぎのマッサージを学ぶ タッピング法を習得する		腓腹筋のマッサージ①・腓腹筋のマッサージ②・タッピング					
第7週	ふくらはぎのマッサージを学ぶ 足首ストレッチ法を習得する		内分泌のツボ・足首のストレッチ・足のストレッチ					
第8週	マッサージ後の効果検証		オイル塗布から足のストレッチまで通し (左右の脚で実践) 疑問点・苦手部分を確認する					
第9週	脱毛学 水性WAXによる脱毛処理を学ぶ		毛の構造、ヘアサイクルを理解する 水性WAXの使用法、注意点を学ぶ					
第10週	セルライトにアプローチする マッサージを学ぶ ペトリサーージュを習得する		ペトリサーージュ (体の移動・密着を習得する)					
第11週	ふくらはぎの血行を促進する マッサージを学ぶ 1 切打法を習得する		切打 (体の動き・手の動きを習得する)					
第12週	ふくらはぎの血行を促進する マッサージを学ぶ 2 拍打法を習得する		拍打 (手の動きを習得する)					
第13週	マッサージ後の沈静方法を学ぶ 擦り上げを習得する		擦り上げ (手の動き・手の圧・密着を習得する)					
第14週	フットマッサージ全工程 復習 1		下肢背面 通し確認(左右の脚で実施) 疑問点・苦手部分の克服 下肢背面 通し計測 ペアで確認しあいアドバイスをして手技を習得する					
第15週	フットマッサージ全工程 復習 2		期末テスト詳細連絡 下肢背面 通し計測					
教科書	YIC京都オリジナル教材							
参考書	INFAテキスト テクニック							
成績評価	単位認定 60 点以上							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない 本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
オフィス・アワー	水曜日以外の放課後 17:00まで							

平成30年度 シラバス

科目名	ビジネスと仕事の実践		担当者		学科	ビューティスペ シャリスト科	開講期	
区分	キャリア基礎力	必須	単位	1単位	学年	2年	曜日	
	講義		(時間)	30			時限	
授業の概要	美容をビジネスの観点から見ていく。サロン経営、店舗運営に直結する内容を講義するとともに、最新の美容業界の動きもつねにチェックする。							
学習目的	美容業界は今後ますます競争が激化していく状況の中で、今後サロンが生き残っていくためには、経営・マネジメントの知識がどうしても必要となる。将来サロンを持つときに、あるいは店長となって店舗を管理する立場になったときに必要となる経営・マネジメントの基礎を学ぶ。しかし、この経営・マネジメントの知識は決して経営者や店長となつてはじめて必要となるものではなく、実はサロンに就職したときからすでに必要となってくるものである。競争が厳しい美容業界においては、経営・マネジメントの視点を持つこともこれからの美容師のあるべき姿で、今のうちからしっかりとビジネス感覚を身につけた人材を育成する。							
学習目標	美容業界をビジネスの観点から分析できる力を身につけます。そして皆さんが就職したときに、そして将来サロンを持つときに、店長になったときに役立つ知識とビジネス感覚を養う。							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1回	オリエンテーション		授業の進め方と心構えについて					
第2回	美容業の現状について		現在の美容業はどのような状況なのか					
第3回	経営とは何か？		経営・マネジメントの視点がなぜ必要か					
第4回	労務管理 1		労務管理					
第5回	労務管理 2		社会保障制度労務管理に関する知識					
第6回	経営管理 1		企業の形態 美容業界と料金					
第7回	経営管理 2		経理 簿記と税務					
第8回	マーケティング 1		なぜマーケティングを学ぶのか マーケティングの基本的な考え方					
第9回	マーケティング 2		マーケティング戦略 競争とポジショニング					
第10回	マーケティング 3		美容業のためのマーケティング 戦略の立て方					
第11回	顧客満足経営		顧客満足経営とはどのような経営なのか 売上志向から顧客志向へ					
第12回	サロン起業 1		サロンの起業とはどのようなものか サロンの起業には何が必要か					
第13回	サロン起業 2		繁盛店を考えてみよう 1					
第14回	サロン起業 3		繁盛店を考えてみよう 2					
第15回	サロン起業 4		今後の美容業界はどうなっていくのか					
教科書	『運営管理』 日本理容美容教育センター編							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 期末テスト得点70%+小テスト3回分得点30%にて成績評価を行う							
履修の ポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス ・アワー	水曜日以外の放課後 17:00まで							

平成30年度 シラバス

科目名	サービス接遇		担当者		学科	ビューティスペシャリスト科	開講期	前期
区分	必須科目		単位	1	学年	1年	曜日	
	キャリア基礎力(講義)		(時間)	30時間			時限	
授業の概要	接客サービス業界で働くにあたり必要な心構えと接客力を身につける、サービス接遇を通し、理解を深める							
学習目的	接客サービス業界で働く楽しさを新郎新婦のコーディネーターなどから感じ取り、それをサポートする接客力を習得する							
学習目標	就職活動や社会人にスムーズになれる言動を身につける。サービス接遇3級、2級合格目標とする							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1回	サービス接遇検定2級、準1級の趣旨		オリエンテーションと検定要項の確認			毎回問題集の宿題提出		
第2回	おもてなしの理論を学ぶ		3級の要項を確認し、理論実技の出題範囲を把握する			毎回問題集の宿題提出		
第3回	おもてなしの理論を学ぶ		気遣いと感じの良い接客			毎回問題集の宿題提出		
第4回	おもてなしの理論を学ぶ		相手の気持ちに寄り添う話し方、接客法			毎回問題集の宿題提出		
第5回	おもてなしの理論を学ぶ		熨斗のきまり、長寿の祝い、物の数え方の呼び名など			毎回問題集の宿題提出		
第6回	おもてなしの理論を学ぶ		ビジネス専門用語の理解			毎回問題集の宿題提出		
第7回	おもてなしの実技を学ぶ		愛想、愛嬌、大きな声で接客ロープレを行う			毎回問題集の宿題提出		
第8回	おもてなしの実技を学ぶ		野菜の販売をアドリブを用いながら行う(準1級対策)			毎回問題集の宿題提出		
第9回	おもてなしの実技を学ぶ		感じの良い挨拶、受け答え、あいづちの基礎			毎回問題集の宿題提出		
第10回	おもてなしの実技を学ぶ		3級合格のための模擬試験			毎回問題集の宿題提出		
第11回	おもてなしの実技を学ぶ		3級合格のための模擬試験			毎回問題集の宿題提出		
第12回	おもてなしの実技を学ぶ		3級合格のための模擬試験			毎回問題集の宿題提出		
第13回	模擬試験		検定試験直前対策、3級、合格のポイントを押さえる			毎回問題集の宿題提出		
第14回	サービス接遇検定答え合わせ		検定の答え合わせ			毎回問題集の宿題提出		
第15回	サービス接遇検定2級要項を説明		準1級の要項を確認し、最終練習を行う			毎回問題集の宿題提出		
教科書	クイックマスター							
参考書	サービス接遇実問題集							
成績評価	単位認定							
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は実施しない)							
オフィス・アワー	授業終了後							

平成30年度 シラバス

科目名	メイクアップ I		担当者		学科	ビューティスペシャリスト科	開講期	
区分	メイク分野 講義・実習	選択必須	単位 (時間)	4単位 120	学年	1年	曜日 時限	
授業の概要	メイクアップの基礎知識・ベーシック～応用技術・アイテムの知識・人間性・マナー・感性を土台に、能力の向上。JMA検定を学びながら、接客業の楽しさ、大変さを学びながら、即戦力となる人材の育成。							
学習目的	JMAメイク検定2級取得。年代メイク、トレンドメイクの学習。							
学習目標	JMAメイク検定2級全員合格。美容部員にふさわしい所作、マナーの向上。授業中は、常に丁寧語、敬語を心掛ける。							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回～ 第4回	オリエンテーション		半期の流れ、JMAメイク検定対策。3級の復習					
第5回～ 第8回	各パーツ眉目口のバランスと分析		メイクアイテム					
第9回～ 第12回	アイブロウ		アイブロウ					
第13回～ 第16回	アイシャドウ		アイブロウ応用 アイメイク基礎					
第17回～ 第20回	アイライン マスカラ		アイブロウアイメイク応用アイラインマスカラ基礎					
第21回～ 第24回	リップ チーク		目元応用 リップ チーク応用					
第25回～ 第28回	2級筆記確認テスト		ナチュラルメイク					
第29回～ 第32回	2級実技トータル		2級実技トータル					
第33回～ 36回	キュートメイク		検定模擬試験					
第37回～ 第40回	クールメイク		検定模擬試験					
第41回～ 第44回	トレンドメイク		付けまつげポイントレッスン					
第45回～ 第48回	カウンセリングメイク		カウンセリングメイク					
第49回～ 第52回	年代別メイク		年代別メイク					
第53回～ 第56回	2級検定対策		2級検定対策					
第57回～ 第60回	2級検定模擬		2級実技検定模擬					
教科書	JMAメイク検定 2級テキスト							
参考書	VOCE、美的							
成績評価	単位認定 60 点以上		期末試験得点70%+確認テスト3回 30%にて総合評価とする。 尚、JMA 2級取得を卒業要件とする。					
履修の ポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない 本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
オフィス ・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	メイクアップ II		担当者		学科	ビューティスペシャリスト科	開講期	
区分	メイク分野 講義・実習	選択必須	単位 (時間)	4単位 120	学年	2年	曜日 時限	
授業の概要	座学、講師デモンストレーション、相モデルを取り入れた、「聴く」「観る」「実際に行う」の3つのパターンで成り立つ知識とそれを使った技術を習得できるプログラム							
学習目的	イメージメイクとカウンセリングトークを深く理解し、1級検定に必要な応用メイクができるようにする。							
学習目標	JMA一級検定試験合格を目指す。現場で即戦力となるカウンセリング、アドバイス、メイク技術の習得							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回～ 第4回	オリエンテーション	1級検定内容について・カウンセリング法とアドバイス法						
第5回～ 第8回	キュートメイク基礎	キュートメイク理論 カウンセリングメイク						
第9回～ 第12回	キュートメイク応用	キュートメイクを利用した似合わせメイクとアドバイスメイク						
第13回～ 第16回	エレガント基礎	エレガントメイク理論 カウンセリングメイク						
第17回～ 第20回	エレガント応用	エレガントメイクを利用した似合わせメイクとアドバイスメイク						
第21回～ 第24回	ボーイッシュ基礎	ボーイッシュメイク理論 カウンセリングメイク						
第25回～ 第28回	ボーイッシュ応用	ボーイッシュメイクを利用した似合わせメイクとアドバイスメイク						
第29回～ 第32回	クール基礎	クールメイク理論 カウンセリングメイク						
第33回～ 36回	クール応用	クールメイクを利用した似合わせメイクとアドバイスメイク						
第37回～ 第40回	顔分析 開軸メイク	開軸メイクを利用した似合わせメイクとアドバイスメイク						
第41回～ 第44回	顔分析 閉軸メイク	閉軸メイクを利用した似合わせメイクとアドバイスメイク						
第45回～ 第48回	顔分析 上昇メイク	上昇メイクを利用した似合わせメイクとアドバイスメイク						
第49回～ 第52回	顔分析 下降メイク	下降メイクを利用した似合わせメイクとアドバイスメイク						
第53回～ 第56回	タイムアタック	一級検定と同様に75分間の流れを行う						
第57回～ 第60回	模擬試験	一級検定と同様に似合わせイメージメイク75分間の流れを行う						
教科書	JMA一級検定テキスト							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 期末試験得点70%＋確認テスト3回 30%にて総合評価とする。							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない 本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
オフィス・アワー								

科目名	イメージメイク		担当者		学科	ビューティスペシャリスト科	開講期	
区分	メイク分野 講義・実習	選択必須	単位 (時間)	2単位 60	学年	1年生	曜日 時限	
授業の概要	実技中心の授業（講師のデモスト、学生が実技を行う） メイクカルテを活用し、理解力を深める 実技チェックテストを行い、テクニックの習得状況を確認し、実技を確実に習得する。							
学習目的	メイク基礎で学んだ知識を活かし、技術を行う事でメイク表現の違いを知る。 メイクの楽しさを他者に伝えることのできるテクニック、表現方法を学ぶ。 様々なメイク表現を習得し、現場で活かせる技法を身に付ける。							
学習目標	様々な表現のメイクテクニックを習得する。 メイクの現場で働く上で通用する時間管理能力を習得する。 現場で仕事をする上でのマナー、ルールを習得する。							
授業計画								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1回 第2回	メイクテクニック技術確認		セッティング、スキンケア、ベース 技術チェック (JMA検定参照) 講師によるデモンストレーション					
第3回 第4回	基本テクニック (ベース)		ベース基礎チェック① スキンケア、マッサージ、ベース、コンシーラー、FD、 PW、モデリング					
第5回 第6回	基本テクニック (アイメイク)		アイメイク基礎テクニック 3色グラデーション					
第7回 第8回	基本テクニック (アイブロー)		アイブロー基礎テクニック アーチ、ストレート、ポイント					
第9回 第10回	基本テクニック (リップ、チーク)		リップ、チーク基礎テクニック フルメイク仕上げチェック			仕上げリチェック テスト		
第11回 第12回	コスメカウンター見学		阪急百貨店梅田店のカウンター見学を実施 最新コレクションの研究 ブランド比較を行う			レポート提出		
第13回 第14回	イメージメイク実践 キュート		キュートメイクのテクニックを習得しモデルの骨格にあっ たキュートメイクができる					
第15回 第16回	イメージメイク実践 エレガント		エレガントメイクのテクニックを習得しモデルの骨格に あつたキュートメイクができる					
第17回 第18回	イメージメイク実践 ボーイッシュ、クール		ボーイッシュ、クールメイクのテクニックを習得しモデル の骨格にあつたキュートメイクができる					
第19回 第20回	実技試験実施		イメージメイクの実践					
第21回 第22回	資生堂について ベストマッチング理論 (座学)		ベストマッチングに基づいた顔分析。曲線と直線のメイ ク、イメージマトリクスからの識別を含めた座学			資生堂プロイン ストラクターに よる講義		
第23回 第24回	スキンケア理論 スキンケア～ベース (座学、実技)		スキンケアからのメイクを理論的に学ぶ 化粧品、化粧用具の種類や用途を再確認 スキンケアを含めたベースメイクの実技			資生堂プロイン ストラクターに よる講義		
第25回 第26回	ポイントメイクアップ		ベストマッチングテキストに基づいた曲線と直線の識別 アイブローカットを含めた整え方 アイブローの描き方			資生堂プロイン ストラクターに よる講義		
第27回 第28回	メイクアップフルメイク		メイクアップベーシックテキストに基づいたトータルメイ クの実技。イメージマトリクスの実践			資生堂プロイン ストラクターに よる講義		
第29回 第30回	メイクアップフルメイク 応用		メイクアップアドバンステキストに基づいた実技 パーティ、トレンド、スチール、撮影用等様々なメイク			資生堂プロイン ストラクターに よる講義		
教科書	資生堂プロオリジナル教材							
参考書	洋書、ファッション雑誌、写真集、宝塚パンフレット等							
成績評価	単位認定	60 点以上	2回の仕上げリチェックテスト (80%) + レポート提出 (20%) にて成績評価を行う 期 末試験期間中の試験は実施しない					
履修の ポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス ・アワー	随時							

科目名	撮影メイク		担当者		学科	ビューティスペシャリスト科	開講期	
区分	メイク分野 講義・実習	選択必須	単位 (時間)	2単位 60	学年	2年	曜日	時限
授業の概要	座学、講師デモンストレーション、相モデルを取り入れた、「聴く」「観る」「実際に行う」の3つのパターンで成り立つ知識とそれを使った技術を習得できるプログラム ヘアメイク選手権にエントリーする作品作り行う							
学習目的	これまで学んできたメイクテクニックを活かし、パリコレ&メイクアップアーティストオーディションにエントリーする作品作り行う							
学習目標	作品作りにおいて決してあきらめない心、チームワーク、限られた材料とタイムリミットで正確に作り上げるテクニックを身につける							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回 第2回	顔分析 メイク ①		横 内心 外心 を意識し顔分析を行い メイクが出来るようになる					
第3回 第4回	顔分析 メイク ②		縦 内心 外心 を意識し顔分析を行い メイクが出来るようになる					
第5回 第6回	顔分析 メイク ③		上方 下方 を意識し顔分析を行い メイクが出来るようになる					
第7回 第8回	顔分析 メイク まとめ		顔分析によるメイクの実践				仕上がりチェック	
第9回 第10回	モードメイク アイカラー ①		アイカラーの中抜きテクニックを実践する事が出来るようになる					
第11回 第12回	モードメイク アイカラー ②		アイカラーの目頭抜きテクニックを実践する事が出来るようになる					
第13回 第14回	モードメイク アイカラー ③		アイカラーのシャープテクニックを実践する事が出来るようになる					
第15回 第16回	モードメイク アイカラー ④		アイカラーのラウンドテクニックを実践する事が出来るようになる					
第17回 第18回	モードメイク アイライン ①		アイラインのスリムラインとオープンアイのテクニックを実践することが出来るようになる					
第19回 第20回	モードメイク アイライン ②		アイラインのキャッツアイとアーモンドアイのテクニックを実践することが出来るようになる				仕上がりチェック	
第21回 第22回	ヘアメイク選手権応募用作品作り		イメージ収集、チェック、メイク実践					
第23回 第24回	ヘアメイク選手権応募用作品作り		イメージ収集、チェック、メイク実践					
第25回 第26回	ヘアメイク選手権応募用作品作り		イメージ収集、チェック、メイク実践				仕上がりチェック	
第27回 第28回	ヘアメイク選手権応募用作品作り		最終確認				仕上がりチェック	
第29回 第30回	撮影(ヘアメイク選手権応募用)							
教科書								
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 4回の仕上がりチェックテスト(40%) + 15回目実技試験(60%)にて成績評価を行う 期末試験期間中の試験は実施しない							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない 本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。又コンテスト参加には不断の努力が必要な事を理解する。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。撮影日は変更になることもある							
オフィス・アワー	授業初回に告知							

科目名	コスメティック販売実習		担当者		学科	ビューティスペシャリスト科	開講期		
区分	トータルビューティ分野 講義・実習	選択必須	単位 (時間)	2単位 60	学年	2年生	曜日 時限		
授業の概要	百貨店研修・メーカー研修での学習内容をいち早く習得し、即戦力となる人材育成、ビューティーのプロを育てます。								
学習目的	店頭での電話対応マナー、カウンター業務の習得。								
学習目標	専門知識・専門技術の育成。面接時でのロールプレーにも対応できる人材育成。								
授業計画									
回	主題	授業内容					備考		
第1週	オリエンテーション ビューティアドバイザーに求められる条件	自己紹介 授業内容確認 身だしなみ 就活の流れ							
第2週	アプローチ～接客までの流れ	購買心理/「褒める」「ネガ→ポジ」コミュニケーション /ハンドアウト 金銭授受/お見送り							
第3週	電話対応(かける・受ける) クレーム対応について	電話対応のマナー/クレームの種類と対応/レジ計算問題							
第4週	ニーズの把握(スキンケア) 表皮について(角質層～基底層)	ニーズの把握を知る 皮膚知識 トーク							
第5週	ニーズの把握(スキンケア) 表皮について(角質層～基底層)	提案の流れを知る 皮膚知識 トーク							
第6週	メイクカウンセリング	肌悩みをカウンセリングし、似合うベースメイクの提案 メイク実習あり							
第7週	紫外線について シミのメカニズム 各ブランドの美白ライン研究	紫外線知識・シミ 美白アイテムの研究							
第8週	小テスト	表皮・真皮の構造 紫外線・しみのメカニズム							
第9週	季節と肌 お気に入りコスメプレゼン	四季による環境の変化と肌へのダメージが説明できる お気に入りのコスメをプレゼン							
第10週	乾燥について	乾燥の原因と対策を説明できるようになる							
第11週	アンチエイジングについて	アンチエイジングの原因と対策を説明できるようになる 各ブランドのアンチエイジングライン							
第12週	にきび・肌あれについて 販売計画	にきびの原因と対策を説明できるようになる 販売計画目標の作成							
第13週	ミネラルコスメを用いてのメイクアドバイス	ミネラルコスメを用いて、スキンケアカウンセリング～ タッチアップ～クロージングまで実施							
第14週	百貨店見学	百貨店見学 各メーカーでタッチアップを受けレポート作成							
第15週	期末試験対策	お客様の悩みに対応できる知識と接客技術を習得							
教科書	講師オリジナルテキスト								
参考書									
成績評価	※評価方法は第1回授業内で告知								
履修の ポイント オフィス ・アワー	出席率80%以上(原則として補講は行わない) 随時								

平成30年度 シラバス

科目名	メイクセラピー I		担当者		学科	ビューティスペシャリスト科	開講期	
区分	メイク分野 講義・実習	選択必須	単位 (時間)	1単位 30	学年	1年	曜日 時限	
授業の概要	座学、実技の授業 テキストの他、学習プリントで検定試験の出題ポイントの習得・テキストのまとめをしながら進めるセラピーメイクの知識と技術を習得する							
学習目的	接客時、クライアントとどのようにしたら信頼関係を構築できるのか、心理学を応用したカウンセリングの基本を習得。この授業で学んだ対人認知・印象管理などの技術を自分自身の就職活動・社会人生活にも活かせるように身につける。これからの美容の発展に向け、より人の心に寄り添う美容・メイクを提供するための知識と技術を習得する。							
学習目標	接客のカウンティング時に必要な心理学の基本を習得する。 メイクがQOLの向上に役立つ事を理解する。 ニキビ、あざ、しみ、やけど跡のカバーテクニックを習得する。 メイクセラピー検定3級(2月受験)合格							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1回	メイクセラピーとは		メイクによる心への影響を学ぶ					
第2回	顔と心と化粧の関係		顔＝心・化粧をする理由・思い込みP36～39					
第3回	カウンセリングの必要性		メイクセラピーの要素・カウンセリング・ラポール・モチベーションP9～13					
第4回	メイクセラピーの流れ		半顔メイク・メインカウンセリング・フルメイク・フォローカウンセリング・癖P14～19					
第5回	カウンセリング概論		カウンセリングの起源・目的・役割・美容カウンセリングとの比較P22～27					
第6回	メイクアップ基礎		皮膚理論と肌の整え方、ファンデーション技術					
第7回	ポイントメイク基礎①		眉、アイメイクのプロポーションと描き方					
第8回	ポイントメイク基礎②		チーク・リップと基礎メイク復習					
第9回	色の効果と立体感		色のイメージを理解し、的確な色を選ぶ知識を学ぶ					
第10回	エイジレスメイク		より若々しく元気に見えるメイク					
第11回	顔分析メイク		左右のパーツの違いを修正するメイク技術					
第12回	敏感肌用メイク		敏感肌やアトピー性皮膚炎の方向けのメイク					
第13回	カバーメイク		ニキビ、あざ、やけど跡、手術痕をカバーするメイク					
第14回	模擬試験実施		文末の問題に挑戦し、検定試験の感覚をつかむ。自分の理解度の確認					
第15回	模擬試験の解答、解説		模擬試験の解答、解説で弱点の克服					
教科書	メイクセラピー検定3級テキスト							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 期末テスト得点70%+小テスト5回分得点30%							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない ※メイクセラピー検定3級取得を卒業要件とする							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	メイクセラピーⅡ		担当者		学科	ビューティスペシャリスト科	開講期	
区分	メイク分野	選択必須	単位	2単位	学年	2年	曜日	
	講義・実習		(時間)	60			時限	
授業の概要	メイクセラピーテキストの他、サブテキストを参考に実技演習をしながら理解を深める。 検定試験の出題ポイントの習得の他、授業の振り返りも丁寧に行い自分で考えて伝える力も育てる。 適宜視覚教材を使い、接客時に必要な信頼関係の築き方の実例を学ぶ。							
学習目的	接客時、クライアントとどのようにしたら信頼関係を構築できるのか、心理学を応用したカウンセリング技術を習得。 クライアントの印象管理のためのメイク技術を習得。 授業で学んだ対人認知・印象管理などの技術を自分自身の就職活動・社会人生活にも活かせるように身につける。							
学習目標	接客のカウンセリング時に必要な心理学の基本を習得する。 就職活動・家族・友人・職場の先輩後輩などとのコミュニケーションにも活用できるようにする。メイクセラピー検定2級(11月受験予定)合格							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	オリエンテーション		メイクセラピー検定について					
第2回	メイクセラピーとは		メイクセラピーの流れ・事例 デモンストレーション					
第3回	化粧心理学		自己意識・化粧の効用・美の影響力・表情と印象					
第4回	メイクセラピーの心理学		非言語メッセージの大切さ・面接・接客での所作					
第5回	印象分析(パーツバランス)		自分の魅力分析・求められる印象分析とその表現方法					
第6回	メイク理論		メイク理論を学ぶ					
第7回	メイク理論		メイク理論を学ぶ					
第8回	色彩学 色彩心理学 パーソナルカラー概論		色がもたらすイメージとパーソナルカラー					
第9回	メイク実習		メイク実習で効果的なメイクセラピーを学ぶ					
第10回	メイク①優しそう・かわいい		イメージ別メイクの習得					
第11回	メイク③癒される・親しみやすい		イメージ別メイクの習得					
第12回	カウンセリング概論		自分自身のメイク・服装・身だしなみについての注意点					
第13回	筆記試験 論述練習問題		マナー、印象管理、持ち物等					
第14回	検定試験最終注意事項伝達		実技試験対策 模擬テストおよび解説 メイク実習					
第15回	検定試験最終注意事項伝達		実技試験対策 模擬テストおよび解説 メイク実習					
教科書	メイクセラピー検定2級対策							
参考書								
成績評価	単位認定	60 点以上	期末試験は筆記試験とする 小テスト4回(40%)＋期末試験得点(60%)にて成績評価を行う					
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は行わない)							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	メイクセラピーⅢ		担当者		学科	ビューティスペ シャリスト科	開講期	
区分	メイク分野	選択必須	単位	2単位	学年	2年	曜日	
	講義・実習		(時間)	60			時限	
授業の概要	メイクセラピーテキストの他、サブテキストを参考に実技演習をしながら理解を深める。 検定試験の出題ポイントの習得の他、授業の振り返りも丁寧に行い自分で考えて伝える力も育てる。 適宜視覚教材を使い、接客時に必要な信頼関係の築き方の実例を学ぶ。							
学習目的	接客時、クライアントとどのようにしたら信頼関係を構築できるのか、心理学を応用したカウンセリング技術を習得。 クライアントの印象管理のためのメイク技術を習得。 授業で学んだ対人認知・印象管理などの技術を自分自身の就職活動・社会人生活にも活かせるように身につける。							
学習目標	接客のカウンティング時に必要な心理学の基本を習得する。 就職活動・家族・友人・職場の先輩後輩などとのコミュニケーションにも活用できるようにする。メイクセラピー検定2級(11月受験)合格							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1回	好感度アップに欠かせない基本態度		授業中など、人と接する時の基本態度					
第2回	化粧心理学①		化粧の歴史・承認欲求と自己承認					
第3回	カウンセリング概論		カウンセリングに必要な心理テクニック					
第4回	印象分析①		パーツバランス・錯視効果					
第5回	印象分析③		対人認知					
第6回	メイクセラピー的心理学①		シャドー・ペルソナ・非指示的カウンセリング・論理療法					
第7回	澆刺とした印象を与える話し方		腹式呼吸・口の開け方・メリハリのつけ方					
第8回	検定筆記試験論述問題対策		論述問題の解答のコツ・過去問題説明					
第9回	間違えやすい日本語・敬語・クッション言葉・相槌		正しい言葉づかい・接客で通用する話し方					
第10回	メイク②落ち着いた・知的		イメージ別メイクの習得					
第11回	メイク④元気で明るい・エネルギッシュ		イメージ別メイクの習得					
第12回	コミュニケーション実習 自発性・リーダーシップ		組織に入った時に必要な心構え					
第13回	コミュニケート実習 傾聴トレーニング		信頼関係を気づく傾聴テクニックの総仕上げ					
第14回	メイク過去問題②		過去に出されたメイクテーマで模擬試験					
第15回	1級検定実技最終注意		実技試験での注意事項を最終伝達					
教科書	メイクセラピー検定1級対策							
参考書								
成績評価	単位認定	60	点以上	期末試験は実技試験とする 過去に検定で出たメイクテーマで模擬テスト(40%) + 期末試験得点60%にて成績評価を行う				
履修の ポイント	出席率80%以上(原則として補講は行わない)							
オフィス ・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	ネイル I (ジェルネイル)		担当者	中井	学科	ビューティスペシャリスト科	開講期	2018 後期
区分	ネイル分野	選択必修	単位	単位	学年	1年	曜日	火曜日
	講義・実習		(時間)				時限	1, 2
授業の概要	検定2級 (ネイルケア・カラー・チップラップ・検定アート) アクリルベーシック (アクリル概論・スカルプ・チップオーバーレイ・3Dアート) ジェルベーシック1 (ジェル概論・プレパレーション・フローター・オフ・ジェルアート基礎)							
学習目的	ベーシックなネイルケアカラーの技能と知識の応用を習得 ベーシックなアクリルネイルの技能と知識の基礎を習得 ベーシックなジェルネイルの技能と知識と基礎を習得							
学習目標	JNECネイリスト技能検定試験2級取得 JNECネイリスト技能検定試験1級受験準備 JNAジェルネイル技能検定試験初級取得							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	ジェル ベーシック	後期教材配布・商品説明・ジェル概論					10月2日	中井
第2回		プレパレーション・ジェルフローター・オフ					10月9日	中井
第3回		フローターオフ					10月16日	中井
第4回		ジェルアート					10月23日	中井
再受験者のみ 3級検定 10月28日(日曜日)								
第5回	ジェルベーシック	フローター					10月30日	中井
第6回		ジェルアート					11月6日	中井
第7回	ジェル 検定対策	ジェル検定初級概要・手順					11月13日	中井
第8回		初級検定対策					11月20日	中井
第9回		初級検定対策					11月27日	中井
第10回		初級検定対策					12月4日	中井
第11回		初級検定対策					12月11日	中井
第12回	検定対策	2級検定対策					1月15日	中井
2級検定受験 1月19日(土曜日)								
第13回	ジェル検定対策	初級検定対策					1月22日	中井
第14回		初級検定対策					1月29日	中井
第15回	ジェル検定初級 校内テスト					2月5日	平塚	
教科書	JNAテクニカルシステム ベーシック・ジェルネイル							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 期末試験得点50%+小テスト模擬テスト課題40%+検定合否10%							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない 本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	ネイル I (2級対策)		担当者	新宮	学科	ビューティスペシャリスト科	開講期	2018 後期
区分	ネイル分野 講義・実習	選択必修	単位 (時間)	単位	学年	1年	曜日 時限	木曜日 1~4
授業の概要	検定2級 (ネイルケア・カラー・チップラップ・検定アート) アクリルベーシック (アクリル概論・スカルプ・チップオーバーレイ・3Dアート) ジェルベーシック1 (ジェル概論・プレパレーション・フローター・オフ・ジェルアート基礎)							
学習目的	ベーシックなネイルケアカラーの技能と知識の応用を習得 ベーシックなアクリルネイルの技能と知識の基礎を習得 ベーシックなジェルネイルの技能と知識と基礎を習得							
学習目標	JNECネイリスト技能検定試験2級取得 JNECネイリスト技能検定試験1級受験準備 JNAジェルネイル技能検定試験初級取得							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1回	検定対策2級		ケア・検定カラー・チップラップ			10月4日	新宮	
第2回			ケア・検定カラー・チップラップ			10月11日	新宮	
第3回			ケア・検定カラー・チップラップ			10月18日	新宮	
第4回			ケア・検定カラー・チップラップ			10月25日	新宮	
再受験者のみ 3級検定 10月28日(日曜日)								
第5回	検定対策2級		2級解説・手順説明・検定アート			11月1日	新宮	
第6回			検定アート			11月8日	新宮	
第7回			2級後半練習			11月15日	新宮	
第8回			2級後半練習			11月22日	新宮	
第9回			2級模擬			11月29日	新宮	
第10回			2級模擬			12月6日	新宮	
第11回			2級検定対策			12月13日	新宮	
第12回			2級検定対策			1月10日	新宮	
第13回			2級検定対策			1月17日	新宮	
2級検定受験 1月19日(土曜日)								
第14回	検定対策1級		1級対策			1月24日	新宮	
第15回	ジェル検定対策		ジェル検定初級模擬			1月31日	新宮	
教科書	JNAテクニカルシステム ベーシック・ジェルネイル							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 期末試験得点50%+小テスト模擬テスト課題40%+検定合否10% ネイル検定2級取得を卒業要件とする							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行わない 本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	ネイルI (アクリル基礎)		担当者	平塚	学科	ビューティスペシャリスト科	開講期	2018 後期	
区分	ネイル分野 講義・実習	選択必修 必修	単位 (時間)	単位	学年	1年	曜日 時限	金曜日 1~4	
授業の概要	検定2級 (ネイルケア・カラー・チップラップ・検定アート) アクリルベーシック (アクリル概論・スカルプ・チップオーバーレイ・3Dアート) ジェルベーシック1 (ジェル概論・プレパレーション・フローター・オフ・ジェルアート基礎)								
学習目的	ベーシックなネイルケアカラーの技能と知識の応用を習得 ベーシックなアクリルネイルの技能と知識の基礎を習得 ベーシックなジェルネイルの技能と知識と基礎を習得								
学習目標	JNECネイリスト技能検定試験2級取得 JNECネイリスト技能検定試験1級受験準備 JNAジェルネイル技能検定試験初級取得								
授 業 計 画									
回	主 題		授 業 内 容			備 考			
第1回	アクリル ベーシック		アクリル概論・ミクスチャートレーニング			10月5日	平塚		
第2回			ハンド作製・フォーム			10月12日	平塚		
第3回			アプリケーション・ピンチ			10月19日	平塚		
再受験者のみ 3級検定 10月28日(日曜日)									
第4回	アクリル ベーシック		アプリケーション・ファイル			11月2日	平塚		
第5回			フィリング			11月9日	平塚		
第6回			スカルプハンド練習			11月16日	平塚		
第7回			スカルプ相モデル			11月30日	平塚		
第8回			スカルプ相モデル			12月7日	平塚		
第9回			チップオーバーレイ			12月14日	平塚		
第10回			検定対策2級			2級対策	1月11日	平塚	
第11回						2級対策	1月18日	平塚	
2級検定受験 1月19日(土曜日)									
第12回	検定対策1級		1級検定対策			1月25日	平塚		
第13回			1級検定対策			2月1日	平塚		
第14回			1級検定対策			2月7日(木)	平塚		
第15回			1級検定対策			2月8日	平塚		
教科書	JNAテクニカルシステム ベーシック・ジェルネイル								
参考書									
成績評価	単位認定 60 点以上 期末試験得点50%+小テスト模擬テスト課題40%+検定合格10% ネイル検定2級取得を卒業要件とする								
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない 本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。								
オフィス・アワー	随時								

平成30年度 シラバス

科目名	ネイルⅡ(アクリル実践)	担当者	前田	学科	ビューティスペシャリスト科	開講期	2018前期
区分	選択必修科目	単位 (時間)	前期 単位 前期 時限	学年	2年生	曜日 時限	火曜 1～4
授業の概要	ネイル検定対策(アクリル・ジェルネイル・ケアカラー・ネイルアート) ネイル資格・試験の対策						
学習目的	サロンワークに通ずるネイルの知識の習得 サロンワークに通ずるネイルの技術の習得 就職活動に活かせるネイル資格の取得						
学習目標	JNAジェル検定中級検定取得 JNECネイリスト技能試験1・2級取得 ジェルメーカーディプロマ取得(スウィートサンシャインベーシック・アドバンス) 就職に活用できる、知識・資格の勉強を通じ、職業意識を高める						
授業計画							
回	主題	授業内容				備考	
第1週	コンテスト対策	アクリル基礎①実践				前田	
第2週		アクリル基礎②実践				前田	
第3週		アクリル基礎③実践				前田	
第4週		アクリル基礎④実践				前田	
第5週		アクリル基礎⑤実践				前田	
第6週		アクリル基礎⑥実践				前田	
第7週		アクリル基礎⑦実践				前田	
第8週		コンテスト対策				前田	
第9週		コンテスト対策				前田	
第10週		コンテスト対策				前田	
第11週		コンテスト対策				前田	
第12週		コンテスト対策				前田	
アジアネイルフェスティバル スカルプ出場 未定							
第13週	ジェル 検定対策	ジェル検定対策				三浦	
第14週		ジェル検定対策				三浦	
第15週		各受験級の苦手克服				前田	
教科書	JNAテクニカルシステム(ジェルネイル)(ベーシック)						
参考書	スウィートサンシャイン ベーシックテキスト・アドバンステキスト						
成績評価	単位認定 60 点以上 期末試験得点50%+小テスト模擬テスト課題40%+検定合否10% ネイル検定2級取得を卒業要件とする						
履修の ポイント オフィス ・アワー	出席率80%以上(原則として補講は実施しない)						

平成30年度 シラバス

科目名	ネイルⅡ(アクリル スカルプ)	担当者	前田		学科	ビューティスペシャリスト科	開講期	前期
区分	選択必修科目	単位 (時間)	前期 前期	単位 時限	学年	2年生	曜日 時限	水曜日 1~4
授業の概要	ネイル総合(アクリル・ジェルネイル・ケアカラー・ネイルアート・フットケア) ネイル資格・試験の対策							
学習目的	サロンワークに通ずるネイルの知識の習得 サロンワークに通ずるネイルの技術の習得 就職活動に活かせるネイル資格の取得							
学習目標	JNAジェル検定中級検定取得 JNECネイリスト技能試験1・2級取得 ジェルメーカーディプロマ取得(スウィートサンシャインベーシック・アドバンス) 就職に活用できる、知識・資格の勉強を通じ、職業意識を高める							
授業計画								
回	主題	授業内容					備考	
第1週	検定対策	各受験級の苦手克服・授業概要					前田	
第2週	アクリル アドバンス	アクリル① スカルプ					前田	
第3週		アクリル② スカルプ					前田	
第4週		アクリル③ スカルプ					前田	
第5週		アクリル④ スカルプ					前田	
第6週		アクリル⑤ スカルプ・チップオーバーレイ					前田	
第7週		アクリル⑥ スカルプ・チップオーバーレイ					前田	
第8週		アクリル⑦ スカルプ・チップオーバーレイ					前田	
第9週		アクリル⑧ スカルプ・チップオーバーレイ					前田	
第10週	検定対策	各受験級の苦手克服					前田	
第11週		各受験級の苦手克服					前田	
第12週		各受験級の苦手克服					前田	
第13週		各受験級の苦手克服					前田	
アジアネイルフェスティバル スカルプ出場未定								
第14週	アクリルアドバンス	デザイン・フレンチスカルプ					前田	
第15週		各受験級の苦手克服					前田	
教科書	JNAテクニカルシステム(ベーシック)(ジェルネイル)							
参考書	スウィートサンシャイン ベーシックテキスト・アドバンステキスト							
成績評価	単位認定 60 点以上 期末試験得点50%+小テスト模擬テスト課題40%+検定合否10% ネイル検定2級取得を卒業要件とする							
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は実施しない) 出席がディプロマ取得必須条件 本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
オフィス・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	ネイルⅡ	担当者	三浦	学科	ビューティスペシャリスト科	開講期	前期
区分	選択必修科目	単位 (時間)	前期 2単	学年	2年生	曜日 時限	木曜日 1, 2限
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ◎ジェルネイル(サロンワークデザイン・ジェルスカルプ・ジェルグラデーション・フレンチ) ◎ネイル資格・試験の対策 ◎就職対策 						
学習目的	サロンワークに通ずるネイルの知識の習得 サロンワークに通ずるネイルの技術の習得 就職活動に活かせるネイル資格の取得						
学習目標	JNAジェル検定中級検定取得 ジェルメーカーディプロマ取得(スウィートサンシャインベーシック) 就職に活用できる、知識・資格の勉強を通じ、職業意識を高める						
授 業 計 画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1週	検定対策	各受験級の苦手克服				新宮	
1級受験 未定 2級受験 未定							
第2週	フットケアカラー	フットケアカラー				三浦	
第3週		フットケアカラー				三浦	
第4週		フットケアカラー				三浦	
第5週	ジェルベーシック	ジェルスカルプ				三浦	
第6週		ジェルグラデーション				三浦	
第7週		ジェルフレンチ				三浦	
第8週		ジェル検定中級対策				三浦	
第9週		ジェル検定中級対策				三浦	
第10週		ジェル検定中級対策				三浦	
第11週	ジェル検定対策	ジェル検定中級対策				三浦	
第12週		ジェル検定中級対策				三浦	
第13週		ジェル検定中級対策				三浦	
第14週		ジェル検定中級対策				三浦	
ジェル検定中級受験 日程調整中							
第15週	検定対策	各受験級の苦手克服				新宮	
教科書	JNAテクニカルシステム(ベーシック)(ジェルネイル)						
参考書	スウィートサンシャイン ベーシックテキスト						
成績評価	単位認定 60 点以上 期末試験得点 50% + 小テスト模擬テスト課題 40% + 検定合否 10% ネイル検定2級取得を卒業要件とする						
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は実施しない)						
オフィス・アワー							

平成30年度 シラバス

科目名	ネイルⅢ	担当者	富江・新宮	学科	ビューティスペシャリスト科	開講期	前期
区分	選択必修科目	単位	前期 2単	学年	2年生	曜日	木曜日
		(時間)				時限	3, 4限
授業の概要	◎ジェルネイル(サロンワークデザイン・ジェルスカルプ・ジェルグラデーション・フレンチ) ◎ネイル資格・試験の対策 ◎就職対策						
学習目的	サロンワークに通ずるネイルの知識の習得 サロンワークに通ずるネイルの技術の習得 就職活動に活かせるネイル資格の取得						
学習目標	JNAジェル検定中級検定取得 ジェルメーカーディプロマ取得(スウィートサンシャインベーシック) 就職に活用できる、知識・資格の勉強を通じ、職業意識を高める						
授業計画							
回	主題	授業内容				備考	
第1週	検定対策	各受験級の苦手克服				新宮	
1級受験未定 2級受験未定							
第2週	ネイルチップ作製	SPCコンテスト用 フラットアート				富江 新宮	
第3週		SPCコンテスト用 フラットアート				新宮	
第4週		SPCコンテスト用 フラットアート				新宮	
第5週		SPCコンテスト用 フラットアート				新宮	
第6週		SPCコンテスト用 フラットアート				富江 新宮	
第7週		SPCコンテスト用 フラットアート				富江 新宮	
第8週		SPCコンテスト用 フラットアート				富江 新宮	
第9週		ジェルアート 富江①				富江 新宮	
第10週	ジェルアート 富江②				富江 新宮		
第11週	サロンワーク アート	ジェルアート 新宮①				新宮	
第12週		ジェルアート 新宮②				新宮	
第13週		ジェルアート 新宮③				新宮	
第14週		ジェルアート 富江③				富江 新宮	
第15週	検定対策	各受験級の苦手克服				新宮	
教科書	JNAテクニカルシステム(ベーシック)(ジェルネイル)						
参考書	スウィートサンシャイン ベーシックテキスト						
成績評価	単位認定 60 点以上 期末試験得点 50% + 小テスト模擬テスト課題 40% + 検定合否 10% ネイル検定2級取得を卒業要件とする						
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は実施しない)						
オフィス・アワー							

科目名	解剖生理学 I		担当者	単位	学科	ビューティスペシャリスト科	開講期
区分	エステ分野 講義	選択必須	単位 (時間)	2単位 60	学年	1年	曜日 時限
授業の概要	座学・グループワーク・発表形式を取り入れた授業 チェックテストを実施し、学習した知識・技術の習得状況を自己管理する 学習の仕方を学び活用する 適宜視覚教材を利用						
学習目的	学んだ知識を基にお客様の悩みを解消するカウンセリングができるようになる						
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 解剖生理学の応用を学び習得する 学んだ知識を基に、お客様が納得する説明ができる INFA国際ライセンス国内卒業筆記試験合格 						
授 業 計 画							
回	主 題		授 業 内 容			備 考	
第1回	導入 解剖生理学復習		・前期に学んだ解剖生理学の復習テスト ・INFA筆記試験を合格するための学習のポイント、学習の進め方の確認				
第2回	細胞 1		細胞の構造について学ぶ ・各名称を覚える ・細胞の役割・分裂について学ぶ				
第3回	細胞 2		細胞・組織・器官・系統の関係性				
第4回	骨格系統 1		骨の働きを理解する 骨の名称を覚える 骨を形状別に区別する			細胞小テスト	
第5回	骨格系統 2		骨と関節の構造と役割について学ぶ				
第6回	筋肉 1		筋肉の働きを理解する 筋肉の名称を覚える 筋肉の種類を理解する			骨格系統小テスト	
第7回	筋肉 2		筋の収縮と疲労について学ぶ 運動と栄養と筋肉の関係について学ぶ				
第8回	皮膚 1		皮膚の役目を理解する 表皮、真皮、について学ぶ			筋肉系統小テスト	
第9回	皮膚 2		皮下組織について学ぶ 皮膚の付属器について学ぶ ・汗腺・皮脂腺・毛・爪				
第10回	皮膚 3		様々な皮膚トラブルについて学ぶ アトピー性皮膚炎、アレルギー、紫外線により肌への影響、にきびの発生の仕方				
第11回	消化器 1		消化器の構造を学ぶ 概論、口腔と付属器官、咽頭と食道			皮膚学小テスト	
第12回	消化器 2		消化器について学ぶ ・胃・小腸・大腸 胃潰瘍、便秘について				
第13回	消化器 3		消化器について学ぶ ・肝臓・すい臓				
第14回	栄養学		主要栄養素を学ぶ 三大栄養素、ミネラル、ビタミンの働きと欠乏症状 栄養素の吸収を学ぶ				
第15回	呼吸器		呼吸器について学ぶ 気道、肺、横隔膜、胸式呼吸と腹式呼吸 喫煙のデメリットについて			消化器 栄養学小テスト	
第16回	循環器 1		循環器について学ぶ ・血液の循環経路・心臓の働き 心臓疾患について			呼吸器小テスト	
第17回	循環器 2		・各血管の特徴 ・血液成分とその役割				
第18回	循環器 3		リンパについて学ぶ ・リンパとは何か ・リンパの循環経路				
第19回	排泄器		排泄器について学ぶ ・腎臓の働き 腎臓疾患について			循環器小テスト	
第20回	神経系 1		神経系を学ぶ ・概論・神経系の分類			排泄器小テスト	
第21回	神経系 2		・大脳皮質と脳幹・脊髄とその機能・神経の伝導路 うつ病、パーキンソン病の発症の仕組み				
第22回	神経系 3		・自律神経 交感神経、副交感神経の働き 自律神経失調症発症の原因				
第23回	内分泌 1		ホルモンについて学ぶ ・ホルモンの作用 ・ホルモン分泌をコントロールしているもの			神経系小テスト	
第24回	内分泌系 2		主な内分泌腺とホルモンの働き ・刺激ホルモン、甲状腺ホルモン、上皮小体ホルモン、副腎ホルモン				
第25回	内分泌系 3		・性腺と性ホルモン 更年期障害について その対処法				
第26回	総合確認テスト		各章の確認テスト実施			確認テスト	
第27回	総合確認テスト 振り返り		総合テストの振り返り学習 各章の復習				
第28回	口頭試問対策		お客様の悩みを解消するアドバイスを考える ・お客様が納得して実施しようと思えるアドバイスを考える				
第29回	口頭試問対策		お客様へのアドバイス発表 みんなの前で発表をし納得して理解できるかを確認する				
第30回	口頭試問対策		アドバイス発表で得た改善点を活用しアドバイスの改善をする				
教科書	INFA セオリー						
参考書	身体の地図帳 講談社編 トータル人体解剖生理学 丸善出版						
成績評価	単位認定 60 点以上		期末テスト得点70%+小テスト10回分得点20%+出席率10% その他授業態度も加味し、減点方式とする				
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない						
オフィス・アワー	随時						

科目名	解剖生理学Ⅱ	担当者	田澤 初美	学科	ビューティスペシャリスト科	開講期	
区分	選択必修科目	単位 (時間)	2単位 60	学年	2年生	曜日 時間	
授業の概要	座学・グループワーク・発表形式を取り入れた授業 チェックテストを実施し、学習した知識・技術の習得状況を自己管理する 学習の仕方を学び活用する 適宜視覚教材を利用						
学習目的	学んだ知識を基にお客様の悩みを解消するカウンセリングができるようになる						
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 解剖生理学の応用を学び習得する 学んだ知識を基に、お客様が納得する説明ができる INFA国際ライセンス国内卒業筆記試験合格 						
授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1週	カルテ指導	カルテ指導					
	カルテ指導	口頭試問対策					
第2週	口頭試問対策	過去の口頭試問問題の解説 骨、筋肉、皮膚					
	口頭試問対策	過去の口頭試問問題の解説 消化器、栄養学、呼吸器、排泄器					
第3週	INFA国際ライセンス受験	INFA国際ライセンス受験					
	INFA国際ライセンス受験	INFA国際ライセンス受験					
第4週	INFA国際ライセンス受験後の振り返り	受験後の振り返り、ディスカッション、フェイシャル・メイク試験への取り組み方の決定				感想文作成	
	皮膚学 復習	皮膚学復習テスト				小テスト	
第5週	皮膚学 応用	表皮の構造を深く理解する ターンオーバー、保湿因子、バリア機能 真皮の構造を深く理解する 基底膜、各細胞と線維の働き					
第6週	皮膚生理学 皮膚の生理機能とは 美しい素肌とは	皮膚の生理機能 生理機能7つを理解する 美しい素肌の条件 美しい素肌の条件6つを理解する					
第7週	皮膚生理学 皮膚の生理機能とは	皮膚の生理機能 生理機能7つを理解する					
	皮膚生理学 美しい素肌とは	美しい素肌の条件 美しい素肌の条件6つを理解する					
第8週	皮膚生理学 様々な状態での皮膚の変化	皮膚の汚れの種類 季節別による皮膚 気温と皮膚					
	皮膚生理学 皮膚の内面美容 概論	皮膚と自律神経、ホルモン、大脳間脳の関係					
第9週	皮膚生理学 皮膚と内臓	皮膚と内臓の関係を理解する 内臓疾患が肌にも与える影響					
	美しい肌になるための食生活について	肌が美しくなる栄養素を理解する ビタミンの働き ミネラルの働き カルシウムの働き 脂肪酸の働き				小テスト	
第10週	皮膚と紫外線	皮膚と紫外線の関係を理解する 紫外線の分類と皮膚への作用 紫外線防御とSPF メラニンの生成過程と美白剤を理解する メラニン合成経路、適応する美白剤					
第11週	皮膚と色素異常 皮膚と湿疹	皮膚と色素異常について理解する 肝斑、そばかす等 皮膚と湿疹について理解する 湿疹の分類方法と発症過程					
第12週	アレルギーについて アトピー性皮膚炎について	アレルギーについて理解する 一次刺激性とアレルギー性皮膚炎の違い アレルギーを起す原因物質 アトピー性皮膚炎について理解する 定義と症状、かゆみの発症過程と治療法、スキンケアのポイント					
第13週	にきびについて ①	にきびについて理解する にきびの症状と発症メカニズム 皮脂過剰原因、毛穴閉塞原因、炎症原因 にきびのスキンケアのポイントを理解する				小テスト	
第14週	ブラックヘッドについて	ブラックヘッドについて理解する					
	エステティック機器学について ①	エステティック機器学について理解する 機器の使用手法、原理、仕組み					
	エステティック機器学について ②	電気的2重層について理解する					
第15週	皮膚とストレスの関係	皮膚とストレスの関係を理解する ストレスとホメオスタシス ランゲルハンス細胞、NK細胞、副腎皮質ホルモン、自律神経				小テスト	
	皮膚と女性ホルモンの関係	皮膚と女性ホルモンの関係を理解する 月経周期による肌の変化 更年期と肌の変化					
	皮膚と睡眠の関係	皮膚と睡眠の関係を理解する 成長ホルモン、レム睡眠、ノンレム睡眠 睡眠とホルモンの関係を理解する				小テスト	
教科書	INFA セオリー						
参考書	身体の地図帳 講談社編 トータル人体解剖生理学 丸善出版						
成績評価	単位認定 60 点以上 期末テスト得点70%+小テスト5回分得点30%						
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は実施しない) 授業を受ける際は前回授業の復習及び当該授業の授業範囲のテキストを熟読したうえで受講することを条件とする						
オフィス・アワー	随時						

科目名	エステ(ボディ)		担当者		学科	ビューティスペシャリスト科	開講期	
区分	エステ分野	選択必修	単位	8単位	学年	1年	曜日	
	講義・実習		(時間)	240			時限	
授業の概要	実技中心の授業。 学習プリントで技術の習得状況、未習得状況を自己管理する。 適宜チェックテストを実施し、テクニックを確実にする							
学習目的	<ul style="list-style-type: none"> ・エステティック理論で学んだ知識を活かした施術をし、モデルのボディバランスの変化を知ることによって施術する喜びを感じる ・人に触れる施術を行うことで、接客する上での心遣い、気配り、相手を思いやる気持ちを育む 							
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・マッサージの効果・テクニックを習得する ・社会に出て「サロンで働く」上で、必要なルール・マナー・守秘義務・清掃を習得する ・社会に出て「サロンで働く」上で必要な時間管理能力を身につける ・INFA国際ライセンス ボディパスポート国内卒業試験合格 							
授業計画								
回	主題		授業内容			備考		
第1週	導入 確認テスト		実習室使用方法、清掃方法の確認。 コース内のルールを決定。 下肢背面確認テストの実施。					
第2週	ヒップマッサージの習得 ヒップアップの手技を習得 立体的なヒップメイキングの手技を習得		ヒップ軽擦、ヒップバイブレーション 3点プッシュ、ヒップタッピング、切打、拍打					
第3週	背中のマッサージの習得 背中の痛みを和らげる手技 背中の血行促進の手技		背中軽擦、8点プッシュ、のこぎり、6点圧					
第4週	背面のマッサージのクオリティを上げる① (下肢背面、ヒップ、背中)		下肢背面、ヒップ、背中のマッサージの復習 連続性、リズム、効果を意識しマッサージを行う					
第5週	背面のマッサージのクオリティを上げる② (下肢背面、ヒップ、背中)		苦手箇所、修正箇所の確認。 背面マッサージを完璧に施術できるようになる					
第6週	美脚マッサージを習得する むくみの解消 立体的なふくらはぎをつくる セルライトを解消する		下肢前面軽擦、足の指先マッサージ ペトリサージュ、切打、拍打 さすりあげ、9点プッシュ					
第7週	理想的なウエスト作りの手技を習得 細いウエストを作る 便秘解消マッサージ		腹部軽擦、ふなごぎ、ペトリサージュ 三角形のマッサージ、大腸マッサージ					
第8週	前面のマッサージのクオリティを上げる① (下肢前面、腹部)		下肢前面、腹部のマッサージの復習 連続性、リズム、効果を意識しマッサージを行う					
第9週	前面のマッサージのクオリティを上げる② (下肢前面、腹部)		苦手箇所、修正箇所の確認。 前面マッサージを完璧に施術できるようになる					
第10週	<ul style="list-style-type: none"> ・気になる二の腕を細くするマッサージの習得 ・細い指先をつくる ・細い二の腕をつくる ・フットケア、 ・wax 		上腕の軽擦、8点プッシュ、手のひら、ストレッチ、 脇のリンパを流す フットケア、ネイルケア、 水溶性wax					
第11週	肩から首のマッサージを習得する 肩こりの解消 顔のむくみの解消 ・ペディキュア		頸部マッサージ ペディキュア					
第12週	理想的なバスト形成のマッサージを習得する バストアップ、胸の谷間の皺とりの手技 バストボリュームアップ、形状記憶の手技		バスト軽擦、3点のつぼ、リサージュ、エフルラージュ エバンターユ、輪上軽擦、バイブレーション					
第13週	美しいバストをメイキングする		バストマッサージの復習 バストバック、ODT					
第14週	INFA試験項目の復習 ①		カウンセリング、カルテ作成を行い、お客様に的確なアドバイスをした上で、施術時間を管理し、効果、目的を意識しながら試験項目の施術ができるようになる					
第15週	INFA試験項目の復習 ②		カウンセリング、カルテ作成を行い、お客様に的確なアドバイスをした上で、施術時間を管理し、効果、目的を意識しながら試験項目の施術ができるようになる					
教科書	INFAテクニック							
参考書	身体の地図帳 講談社編 トートラ人体解剖生理学 丸善出版							
成績評価	単位認定	60 点以上	期末試験はINFA国際ライセンス試験項目とする。 マッサージ、WAX脱毛、ペディキュア、口頭試問、バストバック					
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	エステ(フェイシャル)		担当者		学科	ビューティスペシャリスト科	開講期	
区分	エステ分野 講義	選択必修	単位	8単位	学年	2年生	曜日	
			(時間)	240				時限
授業の概要	INFA国際ライセンス(フェイシャル)取得レベルの技術を身につける							
学習目的	<ul style="list-style-type: none"> ・INFA国際ライセンスにむけて、マッサージを取得することにより、プロのエスティシャンとしての活躍の幅と可能性を広げる ・取り組みの中で忍耐力・思いやりの心・丁寧な立ち居振る舞いを身につける 							
学習目標	INFA国際ライセンス(フェイシャル)取得 スチューデントサロンでのお客様満足度の高い接客							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1週	INFA国際ライセンス(ボディ) フルボディチェック		試験項目フルチェック					
第2週	INFA国際ライセンス(ボディ) フルボディチェック		試験項目フルチェック					
第3週	INFA国際ライセンス(ボディ) フルボディチェック		試験項目フルチェック					
第4週	INFA国際ライセンス(ボディ) フルボディチェック		模擬試験実施 修正点、改善点の理解					
第5週	INFA国際ライセンスボディ試験		INFA国際ライセンスボディ試験 実施					
第6週	フェイシャルケアの流れを理解する		フェイシャルケアの流れ、目的、肌状態のチェック フェイシャルケアの事前準備を理解する					
第7週	クレンジング ポイントクレンジング ネイルケア・カラー		デコルテマッサージの手順を理解する					
第8週	クレンジング ベースクレンジング ネイルケア・カラー		デコルテマッサージの手順を理解する フェイシャルマッサージの手順を理解する					
第9週	デコルテマッサージ イメージメイク		フェイシャルマッサージの手順を理解する					
第10週	デコルテマッサージ イメージメイク		ベースクレンジング、ポイントクレンジング ふき取り デコルテマッサージ、フェイシャルマッサージ確認チェック					
第11週	フェイシャルマッサージ イメージメイク ヘアアレンジ		クレンジング、デコルテ、フェイシャルマッサージ 苦手克服					
第12週	エステティック機器 イメージメイク ヘアアレンジ		ベースクレンジング、ポイントクレンジング ふき取り デコルテマッサージ、フェイシャルマッサージ確認チェック					
第13週	エステティック機器 イメージメイク ヘアアレンジ		エステティック機器について理解する スチーマーの使用法、イオン導入、ブラシクレンジング パック					
第14週	試験項目 実技チェック ①		エステティック機器について理解する スチーマーの使用法、イオン導入、ブラシクレンジング パック					
第15週	試験項目 実技チェック ②		試験項目の一連の流れを理解する					
教科書	I N F A テクニク							
参考書	身体の地図帳 講談社編 トートラ人体解剖生理学 丸善出版							
成績評価	単位認定 60 点以上 期末試験はINFA国際ライセンス試験項目とする。 クレンジング、マッサージ、フェイシャル機器、フェイシャルパック、ネイルカラー、口頭試問							
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は実施しない) 授業を受ける際は前回授業の内容が確実に出来ている状態で受講する事。身だしなみ、事前準備が整った状態で授業を開始する。							
オフィス・パワー								

平成30年度 シラバス

科目名	メイクアップ応用		担当者		学科	ビューティスペシャリスト科	開講期
区分	トータルビューティ分野 講義・実習	選択	単位 (時間)	2単位 60	学年	2年	曜日 時限
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・実技中心の授業 必要に応じて講義形式を取り入れる ・必要に応じて視覚教材を使用 						
学習目的	メイク基礎で学んだ知識・技術を活かし、様々なメイクアップ技術でメイクの表現方法を知る。						
学習目標	INFA国際ライセンスメイクアップパスポート取得 INFA国際ライセンスフェイシャルパスポート取得						
授 業 計 画							
回	主 題		授 業 内 容			備 考	
第1週	メイクテクニック技術確認		セッティング、スキンケア、ベース、ポイントメイクの技術チェック				
第2週	メイクアップ理論		印象分析 パーツバランス 錯視効果				
第3週	ベースメイク アイブロウ		ベースメイク基礎チェック ベース、コンシーラー、 アイブロウ基礎チェック アーチ、ストレート、				
第4週	アイメイク リップメイク		アイメイク基礎チェック グラデーション リップメイク基礎チェック				
第5週	パーティメイクとは何かを知る		メイクデッサンの作成 視覚教材の視聴				
第6週	パーティメイク実践①		相モデルの骨格やパーソナルカラーを分析しパーティに相応しいメイクを行う事が出来る				
第7週	パーティメイク実践②		前回の仕上がりを振り返り改善することができる				
第8週	パーティメイク実践③		相モデルの骨格やパーソナルカラーを分析しパーティに相応しいメイクを30分で行う事が出来る				
第9週	ファンタジーメイクとは何かを知る		メイクデッサンの作成 視覚教材の視聴				
第10週	ファンタジーメイク実践①		相モデルの骨格やパーソナルカラーを分析し幻想的なメイクを行う事が出来る				
第11週	ファンタジーメイク実践②		前回の仕上がりを振り返り改善することができる				
第12週	ファンタジーメイク実践③		相モデルの骨格やパーソナルカラーを分析し幻想的なメイクを30分で行う事が出来る				
第13週	ヘアアレンジ実践		パーティメイク、ファンタジーメイクに合うヘアアレンジテクニックを身につけることができる				
第14週	トータルコーディネート		モデルに合うヘア、メイク、ドレスのトータルコーディネートを実践することができる				
第15週	総まとめ		模擬試験の実施				
教科書							
参考書							
成績評価	単位認定 60 点以上 メイクデッサンの提出5回 コラージュ提出2回 実技試験にて総合評価とする						
履修のポイント	出席80%以上が前提となる、出席時間不足のための補習は行なわない 仕上げチェックや課題、レポートにて成績評価を実施するため授業を練習の場にせず、1コマの授業に対し90分の復習と90分の予習を行ったうえで授業に臨む事。						
オフィス・アワー	随時						

平成30年度 シラバス

科目名	トータルコーディネート		担当者	学科	ビューティ スペシャリスト	開講期	
区分	トータルビューティ分野 講義・実習	選択必須 科目	単位 (時間)	1単位 30	学年	2年	曜日 時限
授業の概要	ファッション、モードの移り変わりとともに、身体装飾の重要な部分として確立されたヘアスタイルとメイクアップについて、メディアやアートを通して繰り返し参照され、再構築されていくそのスタイルの歴史や意味について考える。また、欧米と日本の化粧文化を比較しながら、ファッションとしての現代人の身体モードについて探る。						
学習目的	ファッション、ヘア、メイクの歴史や現代のトレンドを理解し、美容に必要なものの見方、イメージづくりを養う						
学習目標	ビューティスペシャリストとしての美容の知識、テクニックを実践しながら理解する						
授 業 計 画							
回	主 題		授 業 内 容			備 考	
第1回	デッサンの描き方		メイク道具を使ってデッサンを行う			ヘアメイク道具持参	
第2回	ファッションの歴史（1920年～30年代）		社会背景、ファッション、ヘアメイクを映画等の資料を見ながら理解する				
第3回	ヘアメイク実習		前回の時代のヘアメイクを再現、実習する			ヘアメイク道具持参	
第4回	ファッションの歴史（1940年～50年代）		社会背景、ファッション、ヘアメイクを映画等の資料を見ながら理解する				
第5回	ヘアメイク実習		前回の時代のヘアメイクを再現、実習する			ヘアメイク道具持参	
第6回	ファッションの歴史（1960年～1970年代）		社会背景、ファッション、ヘアメイクを映画等の資料を見ながら理解する				
第7回	ヘアメイク実習		前回の時代のヘアメイクを再現、実習する			ヘアメイク道具持参	
第8回	ファッションの歴史（1980年～現代）		社会背景、ファッション、ヘアメイクを映画等の資料を見ながら理解する				
第9回	パーソナルヘアメイク		顔分析やパーソナルイメージを理解する			雑誌持参	
第10回	ヘアメイク実習（キュート、フレッシュ）		テーマに合わせてヘアメイクをする			ヘアメイク道具持参	
第11回	ヘアメイク実習（エレガント、クール）		テーマに合わせてヘアメイクをする			ヘアメイク道具持参	
第12回	イメージの傾向を読み取る ハーモニーとコントラスト		ファッション全体のイメージ傾向を理解する			雑誌持参	
第13回	今季コレクションのトレンド情報		今季のコレクションを見て、トレンドを理解する				
第14回	コラージュ作成		課題テーマにあったコラージュ作品をつくる			雑誌持参	
第15回	レポート、課題						
教科書							
参考書	洋画DVD、雑誌等						
成績評価	単位認定 レポート提出 仕上がりチェック4回（40%）＋第15回目に課題提出（60%）で成績評価を行う 期末試験期間中の試験実施は行わない						
履修の ポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない						
オフィス ・アワー	随時						

科目名	エステ特論 I		担当者	学科	ビューティ スペシャリスト科	開講期	
区分	トータルビューティ分野 講義・実習	選択必須 科目	単位	4 単位	学年	2年	曜日
			(時間)	60 時限			時限
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実技中心の授業、必要に応じて講義形式を取り入れる ・ 必要に応じて視聴覚教材使用 ・ 適宜チェックテストを実施 						
学習目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ INFA国際ライセンス取得(フェイシャル)レベルの技術を身につけ、常に同じレベルの施術を提供する術を身に付ける ・ 取り組みの中で忍耐力・思いやりの心・丁寧な立ち居振る舞いを身に付け社会生活で活用できる 						
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会に出て「サロンで働く」上で、必要なルール・マナー・守秘義務・清掃ができるようになる ・ 社会に出て「サロンで働く」上で必要な時間管理能力を身につける事ができる ・ INFA国際ライセンス フェイシャルパスポート国際試験合格 						
授業計画							
回	主題	授業内容				備考	
第1回 ①・②	INFA国際試験対策-1	オールの通し 1 (計測・口頭試問あり) ※良かった部分と改善部分を交流し合う					
第2回 ①・②	INFA国際試験対策-2	オールの通し 2 (計測・口頭試問あり) ※良かった部分と改善部分を交流し合う					
第3回 ①・②	INFA国際試験対策-3	オールの通し 3 (計測・口頭試問あり) ※良かった部分と改善部分を交流し合う					
第4回 ①・②	INFA国際試験対策-4	オールの通し 4 (計測・口頭試問あり) ※良かった部分と改善部分を交流し合う					
第5回 ①・②	INFA国際試験対策-5	オールの通し 5 (計測・口頭試問あり) ※良かった部分と改善部分を交流し合う					
第6回 ①・②	INFA国際試験対策-6	オールの通し 6 (計測・口頭試問あり) ※良かった部分と改善部分を交流し合う					
第7回 ①・②	INFA国際試験対策-7	オールの通し 7 (計測・口頭試問あり) ※良かった部分と改善部分を交流し合う					
第8回 ①・②	INFA国際試験対策-8	オールの通し 8 (計測・口頭試問あり) ※良かった部分と改善部分を交流し合う					
第9回 ①・②	INFA国際ライセンス受験	INFA国際ライセンスフェイシャル受験					
第10回 ①・②							
第11回 ①・②	スチューデントサロン ボランティア現場研修 プランニング ①	スチューデントサロンのトリートメントメニューを計画する ボランティア現場研修のメニューを計画する					
第12回 ①・②	スチューデントサロン ボランティア現場研修 プランニング ②	スチューデントサロントリートメントメニューを正しく時間内 で施術できるようになる ボランティア現場研修のメニューを正しく時間内で施術で きようになる					
第13回 ①・②	スチューデントサロン ボランティア現場研修 プランニング ③	スチューデントサロントリートメントメニューを正しく時間内 で施術できるようになる ボランティア現場研修のメニューを正しく時間内で施術で きようになる					
第14回 ①・②	期末テスト内容確認-1	期末テスト課題を正しく時間内に施術できるようになる					
第15回 ①・②	期末テスト内容確認-2	期末テスト課題を正しく時間内に施術できるようになる					
教科書	I N F A テクニク						
参考書	身体の地図帳 講談社編 トータル人体解剖生理学 丸善出版						
成績評価	学習過程の確認テスト…20% 期末テスト…80%					単位認定 60点以上	
履修の ポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない						
オフィス ・アワー	随時						

平成30年度 シラバス

科目名	パーツケア実習 I		担当者	学科	ビューティスペシャリスト科	開講期	
区分	トータルビューティ分野 講義・実習	選択	単位 (時間)	1単位 30	学年	2年	曜日 時限
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・実技中心の授業 必要に応じて講義形式を取り入れる ・必要に応じて視覚教材を使用 						
学習目的	<ul style="list-style-type: none"> ・マッサージだけではなく、美容業界の人材として、頭の前から足元までトータルで美しく仕上げる事の出来る技術を身につける 						
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・WAX脱毛、ネイルケア ネイルカラーリング メイク等 パーツ部分を美しくするための技術を身につける 						
授業計画							
回	主題	授業内容				備考	
第1回	WAX、ペディキュア	毛の構造を理解し、正しく安全にWAX脱毛を行う事ができる キューティクルライン、サイド、エッジを意識し、ムラ無くネイルカラーをできるようにする(相モデルにて)				仕上がりチェック	
第2回	バストパック ペディキュア	乳腺解剖学やODT、パック剤の成分を理解し、正しくバストケアを行う事が出来る キューティクルライン、サイド、エッジを意識し、ムラ無くネイルカラーをできるようにする(相モデルにて)				仕上がりチェック	
第3回	INFA国際試験 会場設営	INFA国際試験の会場設営や備品の説明を受験者に説明する					
第4回	INFA国際試験の振り返り	INFA国際試験(ボディ)の受験を通して気付いた事、成長した点、今後の目標をディスカッションする				感想文提出	
第5回	ネイルケア	爪の構造を理解して、正しく消毒・ファイル・キューティクルクリーンができるようになる(相モデルにて)				仕上がりチェック	
第6回	ネイルカラー	キューティクルライン、サイド、エッジを意識し、ムラ無くネイルカラーをできるようにする(相モデルにて)				仕上がりチェック	
第7回	メイクアップ基礎 ベースメイク アイブロウ	骨格や顔の立体感について学びローライトハイライトを入れる事が出来るようになる 骨格にあったアイブロウを描けるようになる				パーティメイクの切り抜き提出日	
第8回	メイクアップ基礎 アイメイク リップメイク	モデルの目の形(一重、二重、奥二重)に合わせたアイメイクができるようになる モデルのリップラインに合わせた魅力的なリップメイクをする事が出来る					
第9回	パーティメイク実践 30分にて	相モデルの骨格やパーソナルカラーを分析し、パーティにふさわしいメイクを30分で行う事が出来るようになる フィードバックをもらい改善点を見つける。					
第10回	パーティメイク実践 20分にて	相モデルの骨格やパーソナルカラーを分析し、パーティにふさわしいメイクを20分で行う事が出来るようになる フィードバックをもらい改善点を見つける。				仕上がりチェック	
第11回	パーティ用ヘアアレンジ	ヘアアレンジ基礎で学んだ事を活かし、モデルの骨格とドレスに合うパーティヘアを作ることができるようになる				パーティ用ヘアの切り抜き提出日	
第12回	ネイルカラー～パーティメイク～パーティヘア	ネイルカラー、メイクアップ、ヘアアレンジのトータルコーディネートを行い、全体バランスを確認し改善点を見つける。				仕上がりチェック	
第13回	ネイルカラー～パーティメイク～パーティヘア	ネイルカラー、メイクアップ、ヘアアレンジのトータルコーディネートを行い、全体バランスを確認し改善点を見つける。				仕上がりチェック	
第14回	ネイルカラー～パーティメイク～パーティヘア	ネイルカラー10分 メイクアップ 20分 ヘアアレンジ5分の時間内で実施出来るようになる				仕上がりチェック	
第15回	ネイルカラー～パーティメイク～パーティヘア	ネイルカラー10分 メイクアップ 20分 ヘアアレンジ5分の時間内で実施出来るようになる				仕上がりチェック	
教科書	I N F Aテクニク						
参考書	身体の地図帳 講談社編 トートラ人体解剖生理学 丸善出版						
成績評価	単位認定 60 点以上 仕上がりチェック7回(70%) + 感想文レポート1回(15%) 切り抜き提出2回(15%) にて成績評価を行う 期末試験期間中には試験を実施しない						
履修のポイント	出席80%以上が前提となる、出席時間不足のための補習は行なわない 仕上がりチェックや課題、レポートにて成績評価を実施するため授業を練習の場にせず、1コマの授業に対し90分の復習と90分の予習を行ったうえで授業に臨む事。						
オフィス・アワー	随時						

平成30年度 シラバス

科目名	プロップアート	担当者		学科	ビューティスペシャリスト科	開講期	
区分	選択科目 トータルビューティ分野	単位 (時間)	1単位 30	学年		曜日	
						時限	
授業の概要	具体的な観察方法及び必要な概念を学び、表現の基本を修得する。						
学習目的	デッサンは美術において大切な基礎であり、製作者の思考及び思想に通じる。将来ビューティ業界に携わる人間として、単に対象物をどのように立体表現するかにとどまらず、観察力の向上、美の発見、その体質に迫る力を養う事を目的とする						
学習目標	デッサンを通じて、観察力描写力を養う。自己表現の場でそれを活かす事が出来る						
授 業 計 画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1回	オリエンテーション	授業の進行方法及びデッサンを始める前準備。必要道具などの確認また使用方法。記憶に頼り身近なものを描いてみる。				基本道具(鉛筆 スケッチブック 定規)カッター 鏡	
第2回	デッサンの基本を知る	各鉛筆の明暗の塗り分け。身近なものを描いてみる。				基本道具 ピクチャーブレン	
第3回	形をとる	正確に形を捉える基本事項。正確に形を捉えるためにピクチャーブレンを用いて描く。(モチーフ 静物)				基本道具 ピクチャーブレン	
第4回	形をとる	正確に形を捉える基本事項。正確に形を捉えるためにピクチャーブレンを用いて描く。(モチーフ 静物)				基本道具 ピクチャーブレン	
第5回	立体感を出す	クロッキー (モチーフ 手) 光と影の意識して描く。(モチーフ 透明グラス)				基本道具 ピクチャーブレン	
第6回	立体感を出す	光と影の意識して描く。(モチーフ 静物)				基本道具 ピクチャーブレン	
第7回	質感の表現 1	クロッキー (モチーフ 人物) モチーフの色と質感を意識して描く。(モチーフ 静物)				基本道具 ピクチャーブレン	
第8回	質感の表現 1	モチーフの色と質感を意識して描く。(モチーフ 静物)				基本道具 ピクチャーブレン	
第9回	クロッキー (課題テスト)	短時間で形を捉えて描く。ポーズを変えて20分 10分 5分 3分 (モチーフ 手)				基本道具 ピクチャーブレン	
第10回	オリジナルパターンをつくる	アートパターンをつくる。下描きなしで間違った線も生かして一気に描き上げる。				基本道具 黒ペン	
第11回	オリジナルパターンをつくる	アートパターンをつくる。下描きなしで間違った線も生かして一気に描き上げる。				基本道具 黒ペン 色ペン	
第12回	オリジナルパターンをつくる	アートパターンをつくる。下描きなしで間違った線も生かして一気に描き上げる。				基本道具 黒筆ペン	
第13回	質感の表現 2	モチーフの色と質感を意識して描く。(モチーフ 静物)				基本道具 ピクチャーブレン ケント紙	
第14回	質感の表現 2	モチーフの色と質感を意識して描く。(モチーフ 静物)				基本道具 ピクチャーブレン ケント紙	
第15回	デッサン(課題テスト)	モチーフの構図、形、色、質感を意識して描く。(モチーフ 静物)				基本道具 ピクチャーブレン ケント紙	
教科書							
参考書							
成績評価	単位認定	60	点以上	計5回の課題テスト50%+最終授業日の期末試験50%にて成績評価を行う			期末試験中の試験は実施しない
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない						
オフィス・アワー							

平成30年度 シラバス

科目名	サービス接客特論	担当者		学科	ビューティ&シャリスト科	開講期	
区分	ビジネス基礎力分野	単位	1単位	学年	1年	曜日	
	講義	(時間)	30			時限	
授業の概要	接客サービス業界で働くにあたり必要な心構えと接客力を身につける、サービス接客を通し、理解を深める						
学習目的	接客サービス業界で働く楽しさを感じ取り、それをサポートする接客力を習得する						
学習目標	就職活動や社会人にスムーズになれる言動を身につける。サービス接客3級卒業要件						
授 業 計 画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1回	サービス接客検定とは？	オリエンテーションと検定要項の確認				毎回問題集から宿題	
第2回	おもてなしの理論を学ぶ	3級振り返り				毎回問題集から宿題	
第3回	おもてなしの理論を学ぶ	気遣い				毎回問題集から宿題	
第4回	おもてなしの理論を学ぶ	相手の気持ちに寄り添う話し方、接客法				毎回問題集から宿題	
第5回	おもてなしの理論を学ぶ	熨斗のきまり、長寿の祝い、物の数え方の呼び名など				毎回問題集から宿題	
第6回	おもてなしの理論を学ぶ	準1級ロープレ実習				毎回問題集から宿題	
第7回	おもてなしの実技を学ぶ	準1級ロープレ実習				毎回問題集から宿題	
第8回	おもてなしの実技を学ぶ	準1級ロープレ実習				毎回問題集から宿題	
第9回	おもてなしの実技を学ぶ	感じの良い挨拶、受け答え、あいづちの基礎				毎回問題集から宿題	
第10回	おもてなしの実技を学ぶ	2級合格のための模擬試験				毎回問題集から宿題	
第11回	おもてなしの実技を学ぶ	2級合格のための模擬試験				毎回問題集から宿題	
第12回	おもてなしの実技を学ぶ	2級合格のための模擬試験				毎回問題集から宿題	
第13回	模擬試験	検定試験直前対策、2級合格のポイントを押さえる				毎回問題集から宿題	
第14回	サービス接客検定答え合わせ	準1級ロープレ実技					
第15回	期末試験	筆記					
教科書	クイックマスターb						
参考書	サービス接客実問題集						
成績評価	単位認定						
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は実施しない)サービス接客準1級ロープレ卒業要件						
オフィス・アワー	授業終了後						

平成30年度 シラバス

科目名	基本IT技術		担当者		学科	ビューティスペシャリスト科	開講期	
区分	ビジネス基礎力分野 講義・実習	選択	単位 (時間)	1単位 30	学年	2年	曜日 時限	
授業の概要	① WindowsとWord2007の基本操作について ② Wordの機能についての理解と利用 ③ Excelの基本的な操作方法や表の作成・編集 ④ 関数についての理解とグラフの作成 ⑤ 文書校正機能やワークシートの操作について							
学習目的	Windows、Word・Excelの基礎を学び、文書や表などを作成・編集できるようにする。機能について理解をし、活用できるようにする。必要な式の作成、考え方を学び、適切な式を入力できるようにする。							
学習目標	Wordの基礎や機能を理解させる。Excelの基礎をしっかりと学び、機能や関数を活用できるようにする。また、P検3級の取得を目指し、合格できるようにする。							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1回	授業のオリエンテーション		授業に関する説明と注意事項、アンケート課題提出用メールアドレスの取得とWindowsの基礎について					
第2回	授業の準備とWordの基礎		課題提出用メールアドレスの取得（欠席者と未取得者）Wordの画面の名称と機能					
第3回	Wordの基本		漢字の変換・文節、読みのわからない漢字の挿入方法 ビジネス文書の構成について					
第4回	ページと書式の設定		ページ設定と書式設定					
第5回	行・段落の設定		段落番号・行間・インデントなどの設定					
第6回	表とヘッダー・フッター		表の挿入・編集とヘッダーフッターの設定					
第7回	オブジェクトの挿入・編集		ワードアートや図形、図やテキストボックスに対する操作					
第8回	Word総合問題		P検3級Word実技問題に順守した問題					
第9回	Excelの基礎		画面の名称や働き、演算子やオートフィル機能について					
第10回	Excelの基本		コピー・移動、関数について（合計を求める）					
第11回	オートSUMボタンを利用した関数		平均、最大・最小値の求め方と表の書式設定。 オートSUMボタンでの設定方法					
第12回	絶対参照と関数の利用		相対参照と絶対参照について 関数の挿入ボタンを利用した関数の入力（セルの個数）					
第13回	グラフの作成と編集		グラフの挿入とグラフの書式設定					
第14回	ページ設定とデータベース機能		ページ設定と表示モードの変更、文書校正について データの並べ替え					
第15回	ワークシートの操作と総合問題		ワークシートに関する設定とP検3級に遵守したExcelの総合問題					
教科書	P検3級テキスト							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 実技試験 60点以上 ※評価方法は第1回授業内で告知							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー	随時							

科目名	キャリアデザイン		担当者		学科	ビューティスペシャリスト科	開講期	
区分	ビジネス基礎力分野 講義・実習	選択	単位 (時間)	1単位 30	学年	1年	曜日	時限
授業の概要	就職活動の為の、キャリアガイダンス 1. 自己分析 2. プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を身につける 3. 仕事を知る							
学習目的	就職活動に必要なノウハウを身につける。							
学習目標	1. 自分を知る事で「やりたい事」「出来る事」「将来像」を明確にしていく。 2. 希望する企業にしっかり想いが伝えられるよう、プレゼンテーション能力を身につける。 3. 社会人として必要なコミュニケーション能力を身につける							
授業計画								
回	主題		授業内容				備考	
第1回	就職活動の流れ NAV Iノート説明 模擬ワークガイダンス		就職活動の流れ→漢字→グループを決める→移動 →1分間スピーチ「自己紹介」 →模擬ワークガイダンス 1人で考える→みんなの意見を合わせる					
第2回	自己分析Ⅰ NAV Iノート 「過去の振り返り」		漢字→1分間スピーチ「私が一番大切にしているもの(事)」 グループワーク(NAV Iノート自己分析Ⅰ) 過去の振り返りより「高校までの私」をグループ内で発表しあう					
第3回	自己分析Ⅱ「長所と短所」 他人から見た自分 「いいとこさがし」		漢字→ワーク「長所と短所」 1分間スピーチ「私の長所と短所」 他人から見た自分→グループワーク「いいとこさがし」					
第4回	自己分析Ⅲ 「ジョハリの窓」		漢字→1分間スピーチ「今までで一番頑張った事」 グループワーク「ジョハリの窓」 私の「心の四つの窓」をグループ内で発表し合う					
第5回	グループワーク		漢字→1分間スピーチ「学生の中に身につけたい習慣」 「夢をかなえるゾウ」をテーマにグループワーク→代表が発表					
第6回	グループワーク		漢字→1分間スピーチ「私のお気に入りのスタッフさん」 グループワーク 「ディズニーのおもてなし」グループ内で発表し合う					
第7回	サロン様 講話		現場の方のお話					
第8回	プレゼンテーションⅠ		プレゼンテーションの説明→各グループで作業					
第9回	プレゼンテーションⅡ		各グループで作業					
第10回	プレゼンテーションⅢ		各グループで作業→プレ発表会→グループで最終仕上げ					
第11回	プレゼンテーションⅣ		発表会 校長先生 総評					
第12回	サロン訪問の仕方・マナー (電話のかけ方、挨拶等)		漢字→ワーク→1分間スピーチ「将来の夢」 電話のかけ方、サロン訪問のマナー					
第13回	サロン様 講話		現場の方のお話					
第14回	履歴書の書き方 自己PR エントリーシート		漢字→ワーク→1分間スピーチ「自己PR」					
第15回	模擬面接		面接の流れ説明→模擬面接					
教科書	就活NAV Iノート その他							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 小テスト5回分(50%) + 感想レポート2回分(20%) + 第11回プレゼン内容(30%)にて成績評価を行う 期末試験中には試験を実施しない							
履修のポイント	就職活動に限らず社会人にとって必要な知識、テクニックを習得する授業である。又、サービスマナー、サービス接遇特論で学習した内容も本授業で反映させるため当該授業の復習を欠かさない事。							
オフィス・アワー	随時							

科目名	プレゼンテーション		担当者		学科	ビューティスペシャリスト科	開講期	
区分	ビジネス基礎力分野 講義・実習	選択	単位 (時間)	1単位 30	学年	2年	曜日 時限	
授業の概要	「仕事の実践」をの知識を活かしながら、プレゼンテーション能力の養成・向上を目指して、プレゼンテーションの基本的な知識を修得し、さまざまな場面で自分の考えをしっかりと相手に伝える積極的な意思表示ができるようになる。							
学習目的	プレゼンテーションを行なうために必要な基本的な事柄を学ぶ。プレゼンテーションの意義・目的、内容、進め方、ツールの活用など、基礎を学ぶと同時に、話し方などの口頭表現、身体表現を中心とした演習を行なう。							
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 論理的に物事を考えられるようになること 2. 限られた時間の中で、自分の考えが効果的に述べられるようになること 3. 聞き手に感動を与えるような話しかたができるようになること 							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	プレゼンテーションとは コミュニケーションとプレゼンテーション		プレゼンテーションの種類と定義について コミュニケーションとプレゼンテーションの違いについて					
第2回	プレゼンテーションの目的		紹介のプレゼンテーション					
第3回	プレゼンテーション準備と流れ1		聞き手の分析や目的の明確化、プラン作成やツールについて					
第4回	聴衆に好感を持たれる話し方の基本		聴衆に好感を持たれる話し方の基本を学ぶ					
第5回	グループごとにプレゼンテーション		グループごとにプレゼンテーション発表 聞き手はチェックシートを用い、発表の仕方、内容をチェックする					
第6回	事業計画書の作り方 事業計画書は何故必要か？		成功する事業計画書をつくる7つのプロセス 事業計画書を構成する5つのパート 事業計画書の全体像をつかむ					
第7回	想いをまとめながら自分の戦場を見極める		事業コンセプト、5年後のビジョン、事業ドメインの決定					
第8回	市場を分析し、勝てる戦略をまとめる		事業が求められる社会的背景をまとめる 市場規模を分析する 競合他社の動向をまとめる 顧客のメリットをまとめる 弊社の強みをまとめる					
第9回	戦略を戦術に落とし込む		商品、サービス内容をまとめる 販売戦略をまとめる ビジネスモデルをまとめる					
第10回	目的地までのロードマップを作成する		売上げ計画を立てる、売上げ原価計画をたてる 人員計画をたてる、設備計画をたてる 利益計画をたてる					
第11回	勝利の方程式をストーリーにまとめる		一言で商品の本質を表現する 他者に負けない強みを短い言葉で表す 他社がマネできない独自の戦略は何か 強みを維持する仕組みはどこか				第5回～第11回の 範囲の小テスト 実施	
第12回	事業計画書の作成① プレゼン資料の作成		これまで学習してきたことを活かし、実際にパワーポイントにてプレゼン資料を作成する					
第13回	事業計画書の作成② 原稿の作成		前回作成したプレゼン資料の原稿を作成する。					
第14回	グループごとにプレゼンテーション①		グループごとにプレゼンテーション発表 聞き手はチェックシートを用い、発表の仕方、内容をチェックする					
第15回	グループごとにプレゼンテーション②		グループごとにプレゼンテーション発表 聞き手はチェックシートを用い、発表の仕方、内容をチェックする					
教科書	オリジナルプリントを使用							
参考書	伊藤宏他『プレゼンテーション演習』 樹村房							
成績評価	単位認定	60	点以上	感想レポート4回提出40%+小テスト得点20%+計3回のプレゼン内容40%で評価 期末試験は実施しない				
履修のポイント	出席80%以上が前提となる、出席時間不足のための補習は行なわない 第1回～第4回にかけては視聴後の感想レポートを提出の事。授業内でプレゼンテーション練習の時間は取らないので各自準備練習をした上で授業に臨む事。							
オフィス・アワー	随時							

科目名	ビジネス文章力		担当者		学科	ビューティスペシヤリスト科	開講期		
区分	ビジネス基礎力分野	選択	単位	1単位	学年	1年	曜日		
	講義・実習		(時間)	30			時限		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義形式・グループワーク・調べ学習・発表を授業で取り入れる ・ 必要に応じて視聴覚教材使用 ・ 美しい字を書く事を授業内で実施 ・ 適宜課題提出 								
学習目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会人として必要なビジネス文書のマナーとルールを活用して社会生活を送る ・ 言葉の重要性和正しい使い方を知り、活用できる 								
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常的に美しい字を書けるようになる ・ ビジネスで必要とされる漢字が書けるようになる ・ ビジネスで必要とされる文章が書けるようになる 								
授業計画									
回	主題	授業内容					備考		
第1回	学習内容を理解して最終目標を立てる 学習の仕方を知り活用する	<ul style="list-style-type: none"> ・ シラバスを基に学習内容を理解して自己を振り返り得手不得手を知る ・ シラバスを基に学習到達目標を理解して自己目標を立てる 							
第2回	TPOに合わせた言葉選び	桃尻語訳を参考に言葉選びの重要性を知り、自身に起こった出来事を文章にする							
第3回	言葉の正しい使い方	TPOに合わせた言葉の使い方を知り活用できるようになる							
第4回	文章の創造を楽しむ	キーワードの文節を基に、自身で文章を作成するポイントを活用できるようになる							
第5回	文章を読み取る事を楽しむ	文章の行間を読む楽しさを感じる事ができる							
第6回	要約をする-1	限られた文字数で要約をして、相手に伝わる文章を作成するポイントを活用できるようになる							
第7回	要約をする-2	要約のポイントを活用して印象に残った本・記事・作品などを要約して発表する							
第8回	改まった手紙を書く	時候の挨拶・前文・末文を使用して手紙を書く							
第9回	社外文書の書き方とルールを知る	社外文書の書き方とルールを知り、実際に書けるようになる							
第10回	社内文書の書き方とルールを知る	社内文書の書き方とルールを知り、実際に書けるようになる							
第11回	電子媒体のビジネス文書 ファックスの送信	電子媒体のビジネス文書のルールとマナーを活用することができる ファックスを送信するときのルールを知り、実際に活用する事ができる							
第12回	郵便物のルール	郵便物のルールを知り活用することができる							
第13回	お礼状を作成する-1	学習した知識を活用してお礼状を実際に作成して郵送する スチューデントサロン・就職活動用							
第14回	お礼状を作成する-2	学習した知識を活用して卒業した高校へお礼状を送る-1							
第15回	お礼状を作成する-3	学習した知識を活用して卒業した高校へお礼状を送る-2							
教科書	オリジナルプリントを使用								
参考書	日本漢字能力検定テキスト								
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 期末テスト 70% ・ 課題提出 30% ・ 「美しい字」の評価 10% 					単位認定 60点以上			
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない								
オフィス・アワー	随時								

平成30年度 シラバス

科目名	論理的思考力基礎		担当者	学科	ビューティスペシャリスト科	開講期	
区分	ビジネス基礎力分野 講義・実習	選択	単位 (時間)	1単位 30	学年	2年	曜日 時限
授業の概要	日常生活に関する題材を取り上げ、現状認識、問題発見をつかさどる把握力、定量分析、定性分析に発展させる分析力、意思決定、情報を研ぎ澄ませる選択力、シュミレーション能力を磨くための予測力、プレゼンテーション能力を発揮できる表現力の基礎を学ぶ。						
学習目的	社会人としてのコミュニケーション能力とは、論理的な表現力を指し、情報の収集・整理・統合・思考そして発信に至るまでの能力が求められる。この能力を数学的思考を通して身につける。						
学習目標	身近な問題を解くことを通して、読解力・把握力・分析力・選択力・予測力・表現力を養う。						
授 業 計 画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1回	オリエンテーション・数学基礎学力テスト	授業の進め方・評価の方法について 数学基礎力試験（数学検定試験）					
第2回	速さの基礎	速さの定義・秒速・分速・時速・速さと距離時間の関係の復習。速さを求める。					
第3回	旅人算・流水算	動くものが2つあるとき、2つのものの隔たりの推移に関する問題を解く。					
第4回	割合の基礎	単位の換算・百分率と歩合・濃度の計算（重量パーセントからモル濃度）					
第5回	損益算	売買による損益に関する計算。原価（仕入れ値）・定価・売価（売り値）・利益の間の関係、特に利益率・値引率の割合の意味を理解し問題を解く。					
第6回	仕事算	単位日数や単位時間にできる仕事の量や仕上げるのにかかる日数や時間を求める。					
第7回	計算の基礎・虫食い算	四則計算・四則混合計算・Xを使う式・連立方程式を解く					
第8回	順列・確立	順列・確立の基本的な考え方と保険・銀行の融資（ゆうし）・株式市場の分散投資について学ぶ					
第9回	集合	集合と要素・部分集合・空集合・関集合・和集合・全体集合・補集合について学ぶ。					
第10回	推理	リーグ戦の勝敗・対応関係・うそつき問題を解く					
第11回	面積・体積	平行四辺形の面積・三角形の面積・台形の面積・ひし形の面積・円の面積・柱体の体積・錐体の体積を求める					
第12回	展開図	直方体・立方体・その他の図形の展開図から、体積・表面積を求める					
第13回	把握力と分析力	業界シェの動向・所得税を求める					
第14回	選択力と予測力	最適な通勤ルートはどれか・来月の売上予想はいくらか求める。					
第15回	表現力	売上高を棒グラフで表す・データ分布のヒストグラムは					
教科書	就職筆記試験対策問題集 一般常識・SP113						
参考書	実践ビジネス数学（エントリークラス）						
成績評価	単位認定 第2回～15回の小テスト（100点満点）の平均60点以上						
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない						
オフィス・アワー	随時						

平成30年度 シラバス

科目名	ビジネス英語		担当者		学科	ビューティスペ シャリスト科	開講期	
区分	選択科目	選択	単位 (時間)	1単位 30	学年	2年	曜日 時限	
授業の概要	サロンでの対応について色々な場面で会話を学ぶ。授業は簡単な会話を中心としビューティ分野に必要な表現も併せて学ぶ。							
学習目的	ビューティ業界で、日本だけではなく、海外のサロンで働いたり、留学したりと多くのステージが考えられる。新しい時代に羽ばたくために、英語を自分のものにする。							
学習目標	英語でのコミュニケーションができるようになるのが目標。中学1. 2年で学ぶ内容をカバーしながら、英語で基本的なやり取りができる力を身につける。							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	事前テストの実施		英単語、レベルチェック					
第2回	Nice to meet you		自己紹介ができる。 初対面の挨拶ができる。					
第3回	How' re you this morning?		相手の調子を尋ねたり、自分の調子を言うことができる。 あいづちを打つことができる。					
第4回	What do you do in your free time?		余暇の過ごし方について尋ねたり、答えたりすることができる。 種類を尋ねたり、答えたりすることができる。					
第5回	Where' re you from?		天気的话题をきっかけに見知らぬ人と会話を始めることができる。 出身地を尋ねたり、答えたりすることができる。					
第6回	How much is it?		値段を尋ねたり、答えたりすることができる。 数字を正しく言えることができる。					
第7回	May I have your name, please?		受付で約束があることを伝えることができる。 位置を表す表現を使うことができる。					
第8回	Where' s the nearest bookstore?		道を尋ねたり、答えたりすることができる。					
第9回	How was your weekend?		趣味について尋ねたり、答えたりすることができる。					
第10回	Nice talking with you.		自然に会話を終わらせることができる。 色々な別れの挨拶をすることができる。 別れの挨拶に返答することができる。					
第11回	Hou about some paperbacks?		第三者の誕生日や好きなことを尋ねたり、答えたりすることができる。 提案する表現が使える。 月や日付を正しく言えることができる。					
第12回	Do you have a fitness center?		Haveを使って設備やサービスについて質問できる。 序数を使って何階かを伝えることができる。 Inやnext toをつかって場所を伝えることができる。					
第13回	業務内で想定される会話		ビューティ業界に就職し、海外のお客様をお迎えした際想定される会話の実践					
第14回	色々な場面の会話		自分が伝えたい事を英語で伝えられるようになる					
第15回	振り返りテストとE C P Tテストの実施							
教科書	E C C E N G L I S H C L I N I C Vega							
参考書								
成績評価	単位認定 E C P Tテスト60点以上 毎授業の単語チェック小テスト13回分(40%) + E C P Tテスト(60%)にて成績評価を行う 期末試験期間中には試験を実施しない							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー	初回授業にて告知							

科目名	サロン運営 I		担当者		学科	ビューティスペシャリスト科	開講期	
区分	ビジネス基礎力分野 講義・実習	選択	単位	2単位	学年		曜日	
			(時間)	60		時限		
授業の概要	・ 現場実習・スチューデントサロンを計画し実施する							
学習目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際の現場で臨機応変に対応してお客様に満足していただけるための思いやりの心・丁寧な立ち居振る舞いを身に付け社会生活で活用できる ・ 組織で活動を円滑に行うために自身がしなければならない事を学び、社会生活で活用できる 							
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際の現場で臨機応変に行動ができる ・ お客様に満足していただける施術内容を考えて施術ができる ・ サロン運営の企画・運営を組織の一員として積極的に参加し、目標とした課題を達成する事ができる 							
授業計画								
回	主題		授業内容				備考	
第1週	オリエンテーション		スチューデントサロンを行う目的を理解し、他の授業との関連性を理解する サロンを運営する上での準備項目を共有認識する					
第2週	サロン運営の概要決定		サロン運営をする上でのタイムスケジュールを決定する 準備物の確認をする 役割分担を決定する メニューを決定する 企画書を作成する					
第3週	サロン運営の広告方法とは		広告方法を考える DMの内容、ブログ、HPの内容を考える					
第4週	サロン運営準備物の作成		準備物の作成を行う DMの作成を行う サロンの一連の流れを考え、決定する					
第5週	接客対応について考える		接客対応のシミュレーションを実施				DM発送 HP、ブログUP	
第6週	技術練習		サロンメニューの技術練習を行う					
第7週	サロン運営		サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、 目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる					
第8週	サロン運営		サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、 目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる					
第9週	サロン運営		サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、 目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる					
第10週	サロン運営		サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、 目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる					
第11週	サロン運営		サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、 目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる					
第12週	サロン運営		サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、 目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる					
第13週	サロン運営		サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、 目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる					
第14週	サロン運営		サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、 目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる					
第15週	振り返り実施		サロン運営についての振り返り実施、改善点を話し合う					
教科書								
参考書								
成績評価	・提出レポート・・・50% ・自身の課題達成度・・・25% ・お客様からの評価(アンケートより判断)・・・25%レポート提出・・・						単位認定 60点以上	
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー	随時							

科目名	サロン運営 II		担当者		学科	ビューティスペシャリスト科	開講期	
区分	ビジネス基礎力分野 講義・実習	選択	単位	8 単位	学年	2 年	曜日	
			(時間)	120			時限	
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現場実習・スチューデントサロンを計画し実施する 							
学習目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際の現場で臨機応変に対応してお客様に満足していただけるための思いやりの心・丁寧な立ち居振る舞いを身に付け社会生活で活用できる ・ 組織で活動円滑に行うために自身がしなければならない事を学び、社会生活で活用できる 							
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際の現場で臨機応変に行動ができる ・ お客様に満足していただける施術内容を考えて施術ができる ・ サロン運営の企画・運営を組織の一員として積極的に参加し、目標とした課題を達成する事ができる 							
授業計画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1週	オリエンテーション		スチューデントサロンを行う目的を理解し、他の授業との関連性を理解する サロンを運営する上での準備項目を共有認識する					
第2週	サロン運営の概要決定		サロン運営をする上でのタイムスケジュールを決定する 準備物の確認をする 役割分担を決定する メニューを決定する 企画書を作成する					
第3週	サロン運営の広告方法とは サロン運営準備物の作成		広告方法を考える DMの内容、ブログ、HPの内容を考える 準備物の作成を行う DMの作成を行う サロンの一連の流れを考え、決定する					
第4週	接客対応について考える 技術練習		接客対応のシミュレーションを実施 サロンメニューの技術練習を行う					
第5週	サロン運営		サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる					
第6週	サロン運営		サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる					
第7週	サロン運営		サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる					
第8週	サロン運営		サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる					
第9週	サロン運営		サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる					
第10週	サロン運営		サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる					
第11週	サロン運営		サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる					
第12週	サロン運営		サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる					
第13週	サロン運営		サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる					
第14週	サロン運営		サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる					
第15週	振り返り実施		サロン運営についての振り返り実施、改善点を話し合う					
教科書								
参考書								
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> ・提出レポート・・・50% ・自身の課題達成度・・・25% ・お客様からの評価(アンケートより判断)・・・25%レポート提出・・・ 						単位認定 60点以上	
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	ボランティア活動		担当者		学科	ビューティスペ シャリスト科	開講期	
区分	ビジネス基礎力	選択科目	単位	1 単位	学年		曜日	
			(時間)	30		時限		
授業の概要	ボランティアの理念、目的、意義、現状や問題点を講義する。ボランティアの理念、目的、意義、現状や問題点を学習した後に、学生の主体的な計画の下にボランティア活動を体験する。							
学習目的	ボランティアの理念、目的、意義、現状や問題点を学習した後に、学生の主体的な計画の下にボランティア活動を体験する。ボランティア活動はもうひとつの信頼を育むコミュニケーションであることを学ぶ							
学習目標	ボランティアの理念を説明できる。ボランティア活動の基本原則を説明できる。実際のボランティア活動を説明できる。ボランティア活動参加の意義を説明できる。ボランティア活動に参加する。							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1回	ボランティアの理念		(無償性, 自主性, 公益性)					
第2回	ボランティア活動の基本原則		自分からすすんで行動する一ともに支え合い一学び合う「見返りを求めないよりよい社会をつくるを学ぶ					
第3回	実際のボランティア活動		実際のボランティア活動について話し合う					
第4回	ボランティア参加の意義		ボランティア活動は、他人同士がいろいろな場でふれあい、つながりを持ち、お互いに学びあって生きる喜びを確かめ合う機会を与えるものであることを確認する					
第5回	自分にあったボランティア活動は?		自分にあったボランティア活動について考察する。					
第6回～第14回	ボランティア活動		ボランティア活動に参加					
第15回	振り返り		レポート作成					
教科書								
参考書								
成績評価	単位認定 レポート提出(1200字以上)にて単位認定とする							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー	随時							

2018 ビューティスペシャリスト科 シラバス

発行 YIC京都ビューティ専門学校

発行日 平成30年 4月 1日

編集 学校法人京都中央学院

〒600-8236 京都市下京区油小路通塩小路下る西油小路町 27 番地

TEL 075-371-4040 FAX 075-343-3821

本便覧の複写および無断転載を禁ずる。